

令和 7 (2025)年度
一般社団法人 兵庫県知的障害者施設協会
定時社員総会

日 時：令和 7年5月 28日 (水)

13:00 受付・13:30 開会

会 場：兵庫県福祉センター

(1F 多目的ホール)

一般社団法人 兵庫県知的障害者施設協会

令和7年度 一般社団法人兵庫県知的障害者施設協会
定時社員総会次第

13:30～ 総 会

- 1 会長挨拶
- 2 来賓挨拶と紹介
- 3 強度行動障害スーパーバイザー認定式
- 4 永年勤続職員感謝状贈呈と謝辞
- 5 協会ロゴマーク表彰式
- 6 新理事長及び新施設長等の紹介

(休 憩)

- 7 議長選出
- 8 議 事

議案第1号 令和6年度事業報告について

議案第2号 令和7年度事業計画について

議案第3号 令和6年度収支決算及び監査報告について

議案第4号 令和7年度収支予算について

議案第5号 協会役員の承認について

- 9 議長退任
- 10 連絡事項
- 11 閉会挨拶

(終了予定 16:30頃)

令和7年度 (一社)兵庫県知的障害者施設協会 総会

ご 来 賓 名 簿

【敬称略】

所 属	お名前
兵庫県 福祉部 障害福祉課 課長	河原 秀和
兵庫県 福祉部 ユニバーサル推進課 課長	岩切 玄太郎
神戸市 福祉局 障害者支援課 自立支援事業担当課長	福原 <small>のぶひと</small> 宣人
社会福祉法人 兵庫県社会福祉協議会 常務理事	芳永 和之
兵庫県身体障害者支援施設協議会 会長	藤田 <small>きし</small> 聡
公益財団法人 兵庫県手をつなぐ育成会 理事長	下村 直美
一般社団法人 兵庫県知的障害者施設利用者互助会 理事長	岩本 <small>よそじ</small> 四十二
一般社団法人 兵庫県知的障害児者生活サポート協会 理事長	小原 冷子
兵庫県重症心身障害児(者)を守る会 事務局長	根岸 初美
兵庫県知的障害者施設家族会連合会 会長	山口 英治

強度行動障害スーパーバイザー認定式

○認定者名簿

No.	認定者名	拠点法人	所属事業所
①	森本 隆義	五倫会	姫路暁乃里
②	蔭西 優作	五倫会	放課後等デイサービス オリオン
③	橋本 豊	兵庫県社会福祉事業団	五色精光園成人寮
④	井村 幸代	兵庫県社会福祉事業団	五色精光園第2成人寮
⑤	笠井 喜世志	福成会	杭瀬福成園
⑥	井上 拓也	福成会	セントラル武庫
⑦	小倉 和仁	福成会	杭瀬福成園
⑧	原田 幸三	愛心福祉会	愛心園
⑨	村瀬 亮	愛心福祉会	愛心園
⑩	大谷 健太	陽気会	よろこび荘
⑪	遠山 伸一	陽気会	サポート統括部・ みのたに園

○代表受領

大谷 健太氏 (陽気会 よろこび荘)

令和7年度 感謝状贈呈者名簿

【神戸 地区】

NO.	氏 名	ふりがな	施 設 名
1	中谷 智子	ナカタニ トモコ	あゆみの里
2	西田 由紀子	ニシダ ユキコ	上野丘更生寮
3	今井 國男	イマイ クニオ	ゼノの村
4	中田 真実	ナカタ マミ	ゼノの村
5	稲井 愛	イナイ アイ	なごみの里
6	岩本 康則	イワモト ヤスノリ	ワークセンターわかまつ

【播淡 地区】

NO	氏 名	ふりがな	施設名
25	長谷川 美香	ハセガワ ミカ	あかりの家
26	亀谷 ひとみ	カメタニ ヒトミ	赤穂市立さくら園
27	清水 亮介	シミズ リョウスケ	栗の木荘
28	高岡 大	タカオカ ダイ	栗の木荘
29	清水 昌子	シミズ マサコ	太陽の郷
30	高田 真奈美	タカタ マナミ	太陽の郷
31	中田 直美	ナカタ ナオミ	太陽の郷
32	濱本 孝之	ハマモト タカユキ	太陽の郷
33	山田 真須美	ヤマダ マスミ	太陽の郷
34	石原 真由美	イシハラ マユミ	高砂市立高砂児童学園
35	徳留 洋子	トクトメ ヒロコ	高砂市立高砂児童学園
36	打村 大介	ウチムラ ダイスケ	ハビネスさつま
37	近藤 雄翼	コンドウ ユウスケ	ハビネスさつま
38	西田 雪絵	ニシダ ユキエ	播磨園
39	橋本 諭	ハシモト サトシ	姫路暁乃里
40	桃尾 明尚	モモオ アキナオ	姫路学園
41	吉田 拓夫	ヨシダ タクオ	姫路学園
42	鷹谷 直樹	タカヤ ナオキ	姫路市立障害者支援センター
43	岸 大介	キシ ダイスケ	三木精愛園
44	尾前 自美	オマエ ジミ	メイプル
45	長谷川 勇介	ハセガワ ユウスケ	もちの木園

【阪丹但 地区】

NO	氏 名	ふりがな	施設名
7	野条 裕美	ノジョウ ユミ	北山学園
8	荻野 明子	オギノ アキコ	グループホームみつみ
9	小原田 由美	オハラダ ユミ	三田こぶしの園
10	婦木 啓輔	フキ ケイスケ	生活介護事業所あおぞら
11	平岡 英樹	ヒラオカ ヒデキ	ななくさ新生園
12	井尻 邦子	イジリ クニコ	西宮すなご医療福祉センター
13	伊藤 香織	イトウ カオリ	西宮すなご医療福祉センター
14	片岡 輝美	カタオカ テルミ	西宮すなご医療福祉センター
15	河村 由紀	カワムラ ユキ	西宮すなご医療福祉センター
16	小西 博美	コニシ ヒロミ	西宮すなご医療福祉センター
17	坂田 一恵	サカタ ヒトエ	西宮すなご医療福祉センター
18	佐野 京子	サノ キョウコ	西宮すなご医療福祉センター
19	西田 加代子	ニシダ カヨコ	西宮すなご医療福祉センター
20	安田 悠樹	ヤスタ ユウキ	西宮すなご医療福祉センター
21	山崎 達哉	ヤマサキ タツヤ	西宮すなご医療福祉センター
22	吉本 明子	ヨシモト アキコ	西宮すなご医療福祉センター
23	細見 諒	ホソミ リョウ	みつみ学苑
24	福島 久美	フクシマ クミ	ライフゆう

順不同

兵庫県知的障害者施設協会ロゴマーク表彰式

○テーマ・コンセプト

- ① やさしさをつなぐ協会
- ② 利用者の方の福祉の向上
- ③ 会員施設・事業所の発展
- ④ 会員相互の連携・協力・ネットワーク

○応募期間 令和6年11月6日(水)～令和7年1月6日(月)

○応募総数 80点

○応募者数 52名

○一次選考 令和7年2月25日 県知協役員会にて

○二次選考 令和7年3月17日 県知協正・副会長会にて

○最優秀賞 寺田 真梨子 様 (姫路若葉福祉会 若葉福祉作業所 生活支援員)

○代理受領 八木 恵子 様 (姫路若葉福祉会 若葉福祉作業所 生活支援員)

決定ロゴマーク



令和7年度 新施設長・管理者・事業所長一覧

施設名	旧	新	変更日
阪丹但地区			
尼崎武庫川園 第1松の園	寺西 良介	笠継 圭志	令和7年4月1日
いきいき宝夢	谷口 篤	溝田 康英	令和7年4月1日
出石精和園 共同生活援助事業所	真田 <small>カズユキ</small> 一如	<small>カネウミ</small> 金海 太一	令和7年4月1日
いずみ園	中島 薫	永野 一夫	令和7年4月1日
伊丹市立こども発達支援センター	藤田 美岐	江口 昌孝	令和7年4月1日
杭瀬福成園	福満 久晃	笠井 喜世志	令和7年4月1日
グループホーム燈	丸山 和幸	小松 美香	令和7年4月1日
さざんかグループホーム	野口 <small>ヨシフミ</small> 能史	脇田 幸治	令和5年7月1日
就労継続B型事業所 スクラム	柴崎 博彦	宮下 浩治	令和7年2月1日
清流園	笠井 喜世志	福満 久晃	令和7年4月1日
宝塚あしたば園	前川 麻由美	野口 <small>ヨシフミ</small> 能史	令和7年4月1日
宝塚くるみの里	溝田 康英	谷口 篤	令和7年4月1日
宝塚けやきの里	福田 加奈子	廣田 徹	令和7年4月1日
たんぼぼワーク	正垣 容子	小林 豊	令和7年4月1日
地域活動支援センターわかば	小倉 昌平	大友 昭五	令和5年11月1日
ななくさ新生園	船越 信利	北田 慎一	令和7年4月1日
ななくさ清光園	北田 慎一	船越 信利	令和7年4月1日
ねくすと(居宅介護)	井関 寿文	宮下 浩治	令和7年2月1日
ねくすと(相談支援)	芦田 愛	林 温子	令和7年4月1日
名神あけぼの園	米満 崇	宇川 英吾	令和7年4月1日
ゆうゆう	<small>フジイ</small> 藤井 <small>マサ</small> 尚生	芝 昭宏	令和7年4月1日
なかよし園	谷垣 一哉	片山 <small>ヨシツグ</small> 義嗣	令和7年4月1日
こんばす	中田 祥貴	中村 喜弘	令和7年4月1日
施設名	旧	新	変更日
播淡地区			
愛心園	中川 裕美子	中川 義之	令和7年4月1日
明石市立あおぞら園	飯塚 由美子	若林 秀昭	令和7年4月1日
明石市立木の根学園 たんぼぼ工房	宮崎 泰生	伊丹 修	令和7年4月1日
明石市立木の根学園 ひまわり工房	伊丹 修	宮崎 泰生	令和7年4月1日
いちよう園	寺田 淳一	<small>カヤハラ</small> 茅原 <small>カズヒト</small> 一仁	令和7年4月1日
共同生活援助 かえてホーム	坂口 雅哉	秦 隆文	令和7年4月1日
栗の木荘	村上 雅之	坂口 雅哉	令和7年4月1日
共同生活援助 うさぎとかめ	中川 裕美子	中川 義之	令和7年4月1日
三恵園	菅谷 典彦	木下 裕之	令和7年5月1日
三光園	前川 将朋	古庄 慎也	令和7年4月1日
はんど	成瀬 和弘	益田 毅	令和6年10月1日
姫路市立かしのきの里	高橋 晃	堀内 泰介	令和7年4月1日
姫路市立障害者支援センター	原田 賢哲	竹田 公子	令和7年4月1日
ゆめさきの家	富田 信介	石野 信幸	令和6年11月1日
陽光園	木下 裕之	菅谷 典彦	令和7年5月1日

令和6年(2024年)度事業報告について

令和6年(2024年)度事業報告(案)について次のとおり承認を求めます。

令和7年5月28日(水)

一般社団法人 兵庫県知的障害者施設協会
会長 松端 信茂

令和6年（2024年）度 事業報告（案）

はじめに

4月に報酬改定が開始されました。要望等も含めて状況変化に合わせての改定とのことですが、事業形態によっては困惑の声も聞かれています。なにより事業運営にも大きく影響のあることですので、今後意見集約を行い、新たな要望へと進めて行けたらと思います。また、5年度からの異例の物価高騰については、米価にも波及し、事業運営にとっても更なる打撃となっていることは皆さまもご承知の通りと存じます。

令和6年度もいろいろなことがありましたが、そのような中でも協会活動を続けてこれましたことについて、深く感謝申し上げます。

各地区会、部会、委員会等全体事業の具体的内容について以下のとおり報告いたします。

1. 新研修体系による協会研修の実施(新規)

これまで検討して参りました協会の新研修システム始動の初年度となりました。各地区会、部会、委員会などの協力により、研修年間計画に挙げていた全ての研修(11研修)を実施した結果、450名を超える受講者となりました。令和5年度まで県知協「研修のあり方検討会」にて検討を重ね、研修の考え方・研修体系・研修内容と実施担当等々、協会内で進めてきた研修をより効果のある新研修システムにすることができました。今後は、見直しや修正点について研修委員会を中心に各部会・委員会等の意見をいただきながらさらに良いものにすべく検討していくこととなります。

2. 政策提言(継続)

兵庫県社会福祉協議会の「令和7年度兵庫県の社会福祉政策への提言」を通じて要望しました。物価高騰に対する助成や、施設におけるマイナンバーカードの管理についての指針の提示、区分認定調査への要望等地区会・部会・委員会からの意見を取りまとめて提出しています。(詳細は政策委員会事業報告参照)

3. 強度行動障害スーパーバイザー養成事業の円滑な実施とスーパーバイザーの活用について(拡大)

令和4年度から参加の事業第一期生については、インターンプログラムを経て年度末に開催された「SV認定委員会」にて11名が「強度行動障害スーパーバイザー」として認定をいただきました。それと同時に報酬改定時に新たな事業となりました集中的支援を担う「広域的支援人材」として兵庫県より推薦・登録をしていただきました。その他の拠点につきましては、月1回の事例検討会や相互訪問等を通じてスキルアップに努め、3月には恒例となった実践報告会にて取り組みについての報告を行いました。今回は、オンラインを含めると200名を超える参加者となりました。

認定されたSVの役割としては、今後は集中的支援のみならず地域支援に對しての体制づくりにも取り組んで参ります。

4. 兵庫県キャラバンの実施(継続)

令和元年度から始まった「兵庫県キャラバン」は、各地区により形式は異なりましたが、懇談等を通じてそれぞれの地域性やサービス種別・規模に応じて貴重な意見交換の場として活用してきました。中には以後の協会運営の参考とさせていただいたものもありました。同キャラバンとしては一旦終了をさせていただきますが、方法を再度検討して参りたいと思います。

5. 虐待防止の取り組み(継続)

当協会の重点研修としての「権利擁護・虐待防止研修」を12月に実施、合理的配慮について関西福祉大学谷口教授にご教授いただきました。また、「初任者職員研修(3~5年)」においても9月に明石市虐待防止センター後藤センター長より意思決定支援についての研修を実施しています。

意思決定支援については、障害者支援施設での取り組み実施において不安視する声も多く聞かれたことから、調査・研究委員を中心に「意思決定支援ガイドライン(兵庫県版)」の作成に取り組みました。

6. 行動援護研修の実施(継続)

重度加算算定のための研修受講がままならなかった時期、会員からの要望を受けて業者とタイアップ(会員限定、格安価格等)による「行動援護研修」を令和2年度より実施して参りました。今年度も実施規模を縮小してですが準備していましたが、資格取得の必要性も少なくなったためか参加希望は激減でした。今年度をもって同事業については終了とさせていただきます。

7. 身体障害者支援施設協議会とのタイアップ事業(継続)

○研修の情報共有

当施設協会研修、強行 SV 養成事業実践報告会等の研修情報を提供し、必要に応じて参加をいただきました。身障支協では、研修自体がなかなか実施できないようで、参加者には好評でした。

○話し合いの実施

12月に両協会幹部による情報交換を行いました。協会運営・研修・災害時支援システム等について活発に意見交換を行いました。当協会としては、高齢・重度化への対応としての介護スキル取得への講師等の協力をお願いします。

神戸地区 事業報告

期 日	事 業 名	場 所
令和6年		
4月 16日	久元喜造後援会連合会総会	神戸国際会館
19日	経営協理事会	県福祉センター
23日	県知協役員会	県福祉センター
5月 8日	県知協 理事会 正副会長会	県福祉センター
10日	経営協 総会	刈ヶ窪パークオリエンタルホテル
17日	世界パラ開会式	ユニバー記念競技場
21日	近畿地区会長会・総会	グランヴィア京都
27日	市知連総会・意見交換会	楠公会館
28日	市社協退職手当共済・福利厚生事業運営委員会	陽気会
28日	市社協施設部会（オンライン）	陽気会
29日	県知協 総会	県福祉センター
30日	市社協障害者福祉部会	こうべ市民福祉交流センター
31日	手をつなぐ育成会総会	育成会会館
6月 9日	市障害者スポーツ大会陸上競技	王子スタジアム
12日	県社協 理事会	県福祉センター
13日	市社協理事会	こうべ市民福祉交流センター
14日	市スポーツ大会選考会	こうべ市民福祉交流センター
17日	県知協 臨時正副会長会	陽気会
20日	知福協定時評議員会	アジュール竹芝

26日	県庁訪問	県庁
26日	県知協役員会	陽気会
7月 4日	こうべ芸術フェスタ・音楽フェア実行委員会	こうべ市民福祉交流センター
16日	ひょうごかぞくねっと会議	市立総合福祉センター
19日	経営協理事会	神戸クリスタルタワー
22日	市障害者施策推進協議会	市役所
24日	社会福祉政策委員会	県福祉センター
26日	強度行動障害地域生活支援事業集中支援実施協議会	県民会館
29日	ひょうごかぞくねっと懇談会	市立総合福祉センター
29日	県知協正副会長会	県福祉センター
30日	民間社会福祉施設職員激励会	神戸刈刈パークアリーナ林研
8月 23日	県知協役員会	県福祉センター
27日	市退職手当共済・福利厚生事業運営委員会	中央区文化センター
27日	施設部会	中央区文化センター
27日	市予算要望集会	市役所
9月 3日	「兵庫県の社会福祉政策への提言」説明会	ラッセホール
5日	福祉7団体打ち合わせ	県福祉センター
12日	全国グループホーム等研修会近畿地区大会 in兵庫	神戸刈刈パークアリーナ林研
～13日	全国グループホーム等研修会近畿地区大会 in兵庫	神戸刈刈パークアリーナ林研
21日	HUG+展(こうべ障がい者芸術フェスタ)表彰式	原田の森ギャラリー
24日	経営協例会・セミナー(オンライン)	陽気会
26日	県知協正副会長会	県福祉センター
10月 18日	全国障害者スポーツ大会神戸市選手団結団式	こうべ市民福祉交流センター
21日	県障害福祉審議会	ラッセホール
25日	全国障害者スポーツ大会 SAGA2024	SAGA サライバパーク等
26日	全国障害者スポーツ大会 SAGA2024	SAGA サライバパーク等
～27日	全国障害者スポーツ大会 SAGA2024	SAGA サライバパーク等
29日	強度行動障害地域生活支援事業集中支援実施協議会	県民会館
30日	知福協全国会長・事務局長会議	浜松町21パシオンホール
～31日	知福協全国会長・事務局長会議	浜松町21パシオンホール
11月 1日	県知協役員会	県福祉センター
12日	福祉の集い打ち合わせ	県福祉センター
18日	市福祉就労促進事業運営協議会	市役所
25日	市知連施設長等研修会	楠公会館
26日	県知協阪丹淡地区キャラバン	ななくさ育成園
27日	県社協理事会	県福祉センター

27日	社会福祉情勢セミナー	県福祉センター
12月4日	退職手当共済・福利厚生事業運営委員会	こうべ市民福祉交流センター
4日	施設部会	こうべ市民福祉交流センター
4日	県知協正副会長会	県福祉センター
7日	ふれあいロードレース	ユニバー記念競技場
11日	市社協理事会	こうべ市民福祉交流センター
17日	県障害者自立支援連絡協議会	県農業共済会館
17日	身体障害者支援施設協議会との打ち合わせ	県福祉センター
21日	ジョイフルコンサート	神戸新聞松方ホール
23日	県知協 役員会	県福祉センター
24日	市民福祉調査委員会	市役所
1月17日	阪神・淡路大震災 30年追悼式典	HAT 神戸
22日	県知協正副会長会	県福祉センター
24日	経営協理事会	神戸クリスタルタワー
29日	神戸市障害者施策推進協議会	市役所
29日	新春福祉関係者のどい	神戸ポートピアホテル
31日	近畿地区知的障害関係施設長等会議	奈良ロイヤルホテル
2月11日	強度行動障害地域生活支援事業報告会	ウィズ明石
11日	ひょうご発達障害者支援センター開設 20周年記念講演	ウィズ明石
12日	市知連施設長会・意見交換会	楠公会館
13日	神戸市予算要望集会（オンライン）	陽気会
19日	「兵庫県の社会福祉政策への提言」回答会	県私学会館
19日	政策委員会	県私学会館
20日	福祉の集い	県福祉センター
3月4日	退職手当共済・福利厚生事業運営委員会	こうべ市民福祉交流センター
4日	施設部会	こうべ市民福祉交流センター
4日	強度行動障害 SV 事業実践報告会	県福祉センター
7日	強度行動障害 SV 認定委員会	県福祉センター
10日	市社協障害者福祉部会	こうべ市民福祉交流センター
14日	県社協理事会	県福祉センター
17日	県知協正副会長会	県福祉センター
18日	久元きそう後援会連合会総会	神戸国際会館
19日	市社協理事会	こうべ市民福祉交流センター
21日	県障害福祉審議会不服審査部会（オンライン）	陽気会
25日	市町障害保健福祉担当課長会議（オンライン）	陽気会
28日	市社協理事会	こうべ市民福祉交流センター

--	--	--

神戸地区は、令和6年度も神戸市知的障害者施設連盟として、加盟54事業所で事業活動を行った。

- 5月27日に楠公会館にて総会と情報交換会を実施。
- 令和6年度の主となる継続事業として、神戸市福祉局障害者支援課から依頼を受け加盟施設から神戸市障害支援区分判定審査会委員35名を選出、円滑な区分判定の協力を行った。
- 神戸市障害者施設職員キャリアアップ検討会の委員2名を選出、共催事業として障害者施設中堅職員の障害者支援に関する知識・技術の習得や支援現場の活性を目的とした「障害者施設職員スキルアップ研修」を行った。
- 災害時に備えて福祉避難所登録事業所の訓練を実施する等、行政機関や関連機関からの依頼に継続的に協力対応した。
- 県知協の研修事業として8月には新施設長・管理者研修、10月に看護師研修、1月に栄養士・調理員研修を実施、いずれも施設間の情報交換と課題共有を目的としてグループワークを導入した。
- 11月25日に楠公会館にて施設長研修を実施、株式会社ジルベルトの西山裕之氏を講師として、「令和6年度報酬改定の概要と実施すべき実務について」47名の参加があった。
- 2月12日に楠公会館にて役員会と施設長会議を行い、地域連携推進会議や複合的な相談支援の取り組みについての行政からの説明と情報交換を行いました。
- スポーツ大会やジョフルコンサート等のイベント事業への協力、ハートフル点灯セレモニーの参加等の事業活動を行った。

阪丹但地区事業報告

日時	事業名（内容）	場所
令和6年		
4月19日	第1回役員会 9名出席/10名中 政策提言、新役員紹介、総会についての検討	三田市総合福祉保健センター
5月9日	第2回役員会 8名出席/10名中 総会の最終確認、新任監督職研修について	三田市総合福祉保健センター
5月9日	地区総会、講演、情報交換会 83名出席 ※講演：「報酬改定から見える施策の今後～これからの社会福祉法人に求められること～」兵庫県知的障害者施設協会 政策委員 古川 勝	三田市総合福祉保健センター
7月8日	第3回役員会 10名出席/12名中 新任監督職研修、兵庫県キャラバンについて	三田市総合福祉保健センター
8月29日	第4回役員会 12名出席/12名中 新任監督職研修、兵庫県キャラバン、公開事例発表会について、報酬改定を受けて情報交換	三田市総合福祉保健センター
8月29日	新任監督職研修「新任監督職研修～利用者も、自分も、そして組織もエンパワメントするために～」 講師：武庫川女子大学 心理・社会福祉学部 教授 松端克文氏 50名参加 ※キャリアアップ助成金利用	三田市総合福祉保健センター
10月23日	第5回役員会 10名出席/12名中 新任監督職研修」振り返り、兵庫県キャラバンについて	三田市総合福祉保健センター
11月16日	キャラバン@阪神北部（三田・宝塚・猪名川・伊丹）施設見学（ななくさ厚生院）、意見交換会 参加施設：10法人23事業所 25名出席	阪神福祉事業団ななくさ育成園

12月5日	阪神福祉事業団共催 公開事例発表会「高齢知的障がい者への支援」、65名出席	阪神福祉事業団ななくさ育成園、オンライン
令和7年		
1月15日	第6回役員会 9名出席/12名中 次年度計画について	三田市総合福祉保健センター
3月17日	第7回役員会 総会準備について	三田市総合福祉保健センター

播磨地区事業報告

施設長会総会並びに施設長・職員代表者合同会議

施設長・職員代表者合同会議	4月24日(水)	83名
---------------	----------	-----

施設長会

施設長会役員会等	4/24、7/1、8/28、10/31、12/12、 3/5、3/
----------	--------------------------------------

第1回 施設長研修会

施設長・職員合同研修	令和6年8月28日(水) 10:00~16:30 於：姫路商工会議所 ※研究事業に内容を記載
------------	--

第2回 施設長研修会

日 時	令和7年3月5日(水) 13:30~16:30
場 所	姫路総合福祉会館 5階大会議室
参加者	28施設31名
内 容	講 演 「報酬改定から1年 現状と課題と これからのあり方」 講師 日本知的障害者福祉協会 近畿地区代表政策委員長 木村 勝也 氏 内容 令和6年度報酬改定を受けての現状や課題等についての講演 を踏まえ、対応策や将来の方向性について意見交換を行った。

2 職員代表者会

職員代表者会役員会	4/24・10/8・2/21
スポーツ委員会	4/24・5/7・5/24・5/30・5/31

研修委員会	4/24・6/18・10/21・2/5
研究委員会	4/24・6/10・7/26・9/27・2/6
文化委員会	4/24・6/3・10/2・1/15

3 スポーツ事業

第36回ばんたん親善運動会

日 時	令和6年5月31日(金) 10:30~14:30
場 所	加古川運動公園陸上競技場
参 加 者	当日雨天中止

4 研修事業

第1回 職員研修会

日 時	令和6年7月23日(火) 10:00~15:00
場 所	姫路市総合福祉会館
参 加 者	80名
内 容	講義 アートで繋がる福祉 自分の「できる」を活かす支援 講師 プリズムデザインラボ 代表 畠 健太郎 氏

第2回 職員研修会

日 時	令和6年11月13日(水) 10:00~15:00
場 所	姫路市広畑体育館
参 加 者	59名
内 容	講義 「目の前の障がいの捉え方・・・」 講師 一般社団法人 フォースタート 理事長 大内 秀之 氏

5 研究事業

第38回 施設長・職員合同研究会

日 時	令和6年8月28日(水) 10:00~16:30 情報交換会 実施
場 所	姫路商工会議所
参 加 者	75名
内 容	講義 「防災！一瞬の判断と備え」～能登半島地震を踏まえて 福祉施設職員として知っておくべき災害対応の

	基礎知識～ 講師 NPO 法人 日本防災士会本部理事 田中 健一 氏
--	---------------------------------------

6 文化事業

第2回 ばんたん・ゆうあい作品展

日 時	令和6年11月29日～12月2日（4日間）
場 所	姫路市民プラザ イーグレ姫路
出 展 数	28施設 232点
見 学 者	574名

児童発達支援部会 事業報告

令和6年度も昨年度に続き、集合での部会会議や職員研修を開催することができました。令和6年度は報酬改定が行われました。部会会議では改定についてその対応方法など情報交換がなされました。

また例年に引き続き、直接支援職員の交流研修を実施しました。6年度のテーマは、通園施設は「入職後5年以内の職員の今の心境、明日への活力」とし、入所施設は「入所施設の生活全般」について意見交換を行いました。「自施設で頑張っているところ」を伝えあい、「ほかの園での取り組み」を参考にして、明日への活力となりました。県内会員施設の職員同士の意見交換は有意義なものとなりました。

児童発達支援部会 加入施設24（入所10 通園14）

事業名	期日	場所/会場	内容・目的・テーマ
県児童三役打会議	9/4	WEB会議	部会会議の件
県児童発達支援部会	10/11	三田谷治療教育院	情報交換・職員研修について
県児童職員交流研修	12/20	三田谷治療教育院	支援職員の交流・意見交換など
全国児童発達支援協議会	11/28 ～29	福岡	中央情勢・情報交換など
知福協児童部会協議会	R7/3/6 ～3/7	東京 TOC 有明	中央情勢・情報交換など

障害者支援施設部会 事業報告

“令和6年度の報酬改定”を受けて年度半ば以降、三田市や姫路市で情報交換会を開催しました。会では近畿の木村勝也政策委員長に中央情勢などをお話しいただいた上で、加算のことや物価・水道高熱費の高騰、虐待や権利擁護に関すること、また現場での人材不足など、内容は多岐にわたり意見交換を行いました。これらはすぐには解決するわけではないですが、様々な情報を交換することで参加された施設・事業所の現状や課題、悩みの共有、新たな気づきが出来たのではないかと感じています。

その他、近畿の他地区との連携や令和6年12月の広島で開催された部会の全国大会、また令和7年1月奈良での近畿地区施設長等会議などにも部会々員さまより分科会にご登壇いただき、部会として協力していきました。

日付	内容	参加	場所
令和6年7月9日	第1回部会役員会	3名	兵庫県福祉センター
令和6年9月5日	第2回部会役員会	3名	兵庫県福祉センター
令和6年10月11日	情報交換会（三田）	26名	三田市総合保健福祉センター
令和6年1月16日	情報交換会（姫路）	20名	姫路市民会館
令和7年3月12日	第3回部会役員会	2名	兵庫県福祉センター

日中活動支援部会 事業報告

令和6年4月の報酬改定では、生活介護事業は従来の営業時間設定の基本報酬が見直しになり、サービス提供時間に応じた細やかな評価が導入され、人員配置体制加算の算出方法が変わるなど大きな変更を余儀なくされる改正となりました。その他でも、延長支援加算の拡充や食事提供加算の算定要件見直し等、改正施行後も各事業所がニーズに応えながらも安定した事業所運営の在り方に苦慮した年度となりました。

部会では今年度も生活介護事業を実施する知的障害児・者施設・事業所を対象に「日本知的障害者福祉協会利用者実態調査」を実施し、多くの事業所にアンケートのご協力を頂きました。

また、1月28・29日埼玉県のソニックシティ大宮にて「令和6年度日中活動支援部会全国大会関東埼玉大会」が開催され、2日目分科会の企画運営と基本講演を担当しました。

今年度も県内の部会活動として研修会等の実施には至りませんでした。こ

れからの生活介護事業が求められている役割や幅広い支援のなかで重要な視点である「重度利用者の意思決定支援や地域への社会参加」について、担当者間で協議検討し、全国大会の企画に反映できるように努めました。

事業名	日時	場所・会場	内容・目的・テーマ等
近畿地区日中活動支援部会	5月21日	ホテルグランヴィア京都	・中央情勢共有 ・各府県より近況報告
	10月9日	リモート	・「重度利用者の意思決定支援や社会参加」に関する意見交換
	12月9日	大阪知福協事務局	・報酬改定施行後の意見交換

生産活動・就労支援部会 事業報告

生産活動・就労支援部会は、昨年度に引き続き対面での会議や集合型の行事を積極的に実施しました。新たに就労分野に創設される就労選択支援事業の情報発信や雇用支援ビジネスについて考える機会を設けるとともに、先進的な取り組みをしている事業所見学など、生産活動・就労支援に取り組む事業所間の情報共有と職員交流を重視した運営に努めました。

《県行政との意見交換会の実施》

令和6年6月18日、兵庫県庁内において部会役員・協力委員が福祉部ユニバーサル推進課障害者就労支援班と意見交換会を実施しました。今年度の事業運営において、就労支援班との連携を行いながら部会の運営を推進していけるように、今後も行政との連携を密にしながら事業推進を図ることを確認しました。

《「先進事業所等訪問事業」の実施》

令和6年9月18日に先進事業所等訪問事業として、神戸市須磨区にある「株式会社シルベルト」を訪問しました。株式会社シルベルトは「障害者を納税者に」の理念のもと就労継続支援A型・B型の多機能型で運営されています。

今回の参加要件として、中堅職員やサービス管理責任者を対象に実施し、施設見学と講義を組み合わせた内容で、活発な意見交換を交えながら約30名の参加者が学びを深めました。

《「生産活動・就労支援部会 第2回今と未来を考える会議」の開催》

令和6年11月15日、ウィズ明石にて、「就労支援フォーラム」を開催しました。今回は、兵庫県社会就労センター協議会との共催で実施しました。

講師として、厚生労働省から就労選択支援専門官の鈴木氏をお招きし、令和7年10月より運営開始される就労選択支援事業について、また、株式会社エスプールプラスより岡本氏をお招きし雇用支援ビジネスについてご講演いただきました。150名の募集定員のところ約160名の参加があり、NPO法人や株式会社、特別支援学校や行政など幅広い団体からの申し込みがあり、注目度の高さが伺えました。

《役員会の開催》

本部役員（3名）と協力委員（4名）が対面で事業実施上の課題等について協議する部会役員会を8回開催しました。

第1回部会役員会	令和6年	4月19日	ワークメイト西宮聖徳園(西宮市)
第2回部会役員会	令和6年	5月20日	書写ひまわりホーム(姫路市)
第3回部会役員会	令和6年	6月18日	兵庫県福祉センター(神戸市)
第4回部会役員会	令和6年	7月29日	万寿の家(神戸市)
第5回部会役員会	令和6年	8月26日	納豆工房なっところちゃん(高砂市)
先進事業所等訪問	令和6年	9月18日	株式会社 ジルベルト(神戸市)
第6回部会役員会	令和6年	10月8日	ウィズ明石(明石市)
今と未来を考える会議	令和6年	11月15日	ウィズ明石(明石市)
第7回部会役員会	令和7年	1月24日	兵庫県福祉センター(神戸市)
第8回部会役員会	令和7年	3月11日	兵庫県福祉センター(神戸市)

地域支援部会 事業報告

令和6年度は第35回全国グループホーム等研修会が近畿地区の担当で、兵庫県が開催地となったためそれに向けた活動が主なものとなりました。「どこまでやれるのか地域支援、どこへいくのかグループホーム」をテーマに神戸メリケンパークオリエンタルホテルで開催され、武庫川大学松端克文教授による基調講演をはじめとして分科会では実践報告等が行われ500名定員のところ490名の申し込みがあり、スタッフを含めると550名にのぼる方々にご参加いただきました。準備段階では日本知的障害者福祉協会地域支援部会長の石本伸也氏をはじめとして近畿地区の地域支援部会役員が集い、全国のグループホームの動

向について情報交換を行う貴重な機会ともなりました。

令和 7 年度の近畿地区グループホーム等研修会が和歌山で開催されることが決定しており、大会終了後はそれに向けた準備にとりかかっています。

《近畿地区地域支援部活動状況》

R6.04.18	第 1 回近畿地区地域支援部役員会	兵庫県福祉センター
R6.05.14	第 2 回近畿地区地域支援部役員会	大阪福祉協会
R6.06.05	第 3 回近畿地区地域支援部役員会	兵庫県福祉センター
R6.07.08	第 4 回近畿地区地域支援部役員会	兵庫県福祉センター
R6.08.09	第 5 回近畿地区地域支援部役員会	兵庫県福祉センター
R6.08.28	第 6 回近畿地区地域支援部役員会	オリエンタルホテル (全国 GH 大会近畿地区大会下見)
R6.09.12・13	第 35 回全国 GH 等研修会	オリエンタルホテル
R6.11.12	第 7 回近畿地区地域支援部役員会	兵庫県福祉センター
R7.03.12	第 8 回近畿地区地域支援部役員会	大阪福祉協会

相談支援部会 事業報告

相談支援部会を3回（6月、9月、1月）開催しました。会員事業所の名簿作成、各事業所の取り組み等の情報共有、実態調査アンケートの内容等について意見交換を行いました。9月と1月の相談支援部会は対面で開催することができ、これまで以上に密な会議を進めることができました。

12月に実態調査アンケートを実施しました。兵庫県内の相談支援事業所356か所に調査依頼をし、77事業所から回答がありました。回答率は21%と低調でしたが、幅広い意見が集まり、令和6年度報酬改定後の相談支援事業所の状況把握や今後の政策提言に向けて有意義な取り組みとなりました。

今後も会員事業所の意向にそって、部会運営をしていきます。

支援スタッフ委員会 事業報告

企画の打ち合わせ、情報交換を主なテーマに県内3地区職員代表者意見交換会を対面会議で4回開催しました。各地区からの行事や研修の報告、スタッフ

委員企画の研修などの詳細打ち合わせを行いました。会場は県知協事務局だけでなくスタッフ委員所属の事業所でも行い、施設見学も実施し、各地区間の交流を深めました。また、昨年度から引き続き、フライングディスク大会を実施しました。スタッフ委員会ではフライングディスク競技の勝敗に注力するのではなく、参加された方の交流にも重きを置いた企画にしたいという思いがあり、「スポーツ大会」改め「スポーツ交流会」としてご案内をさせていただきました。職員の研修は、新任職員研修会、初任者研修会、支援力パワーアップ研修会を行い、知識の習得と共に、グループワークやアイスブレイクなどを通して職員同士の交流を深めました。

事業名	期日	場所/会場	内容・目的・テーマ等
3地区意見交換会 年4回	6月21日(金)	兵庫県福祉センター	新旧スタッフ委員顔合わせ及び引き継ぎ
	8月8日(木)	ゼノの村	事業予定及び活動内容の確認
	10月24日(木)	兵庫県福祉センター	各地区報告・情報交換 次年度の活動計画について
	令和7年2月7日(金)	ライフセンター神戸	研修会・イベントの打合せ
新任職員研修会	8月8日(木)	ウィズあかし 参加者：28名 +スタッフ委員	接遇マナー動画研修 グループディスカッション等 進行：スタッフ委員
初任者研修会	9月10日(火)	ウィズあかし 参加者：35名 +スタッフ委員	意思決定支援について 講義・グループワーク 講師：社会福祉法人 明石市社会福祉協議会 明石市基幹相談支援センター虐待防止センター長 後藤 謹武 氏
第18回スポーツ交流会	12月4日(水)	兵庫県立障害者スポーツ交流館	スポーツ振興、施設間・利用者交流 フライングデ

支援力パワーアップ研修会	12月19日(木)	参加者：42名 +引率職員+ボランティア+スタッフ委員 あすてっぴ KOBE 参加者：29名 +スタッフ委員	イスク 支援力を高めるために… 講義・グループワーク 講師：武庫川女子大学 心理・社会福祉学部 社会福祉学科 教授 松端 克文 氏
--------------	-----------	--	---

スポーツ委員会 事業報告

令和6年5月に第18回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会（第33回ひょうご・ゆうあいスポーツ大会・第62回兵庫県身体障害者スポーツ大会）が開催されました。陸上競技・ソフトボール・サッカー・フライングディスクは県立三木総合防災公園、一般卓球・バスケットボールは県立障害者スポーツ交流館、水泳は三木山総合公園屋内プール、ボウリングは神戸六甲ボウルにて5日間にわたって実施されました。（バレーボールは参加者不足の為、未開催）

各競技において優秀な成績を収められた選手は、兵庫県の選考を経て、県代表選手として10月26日から10月28日までの3日間（移動日除く）、佐賀県で開かれた「第23回全国障害者スポーツ大会 SAGA2024」に出場され、日頃の練習の成果を十二分に発揮されました。

年末からは、第19回障害者のじぎくスポーツ大会の準備が始まり、各地区の競技別責任施設の担当者の皆様に再度ご協力をいただき、準備を進めています。

その他の活動として、兵庫県障害者スポーツ協会や兵庫県ユニバーサル推進課、神戸市教育委員会と連携した会議や活動を行いました。

事業名	期日	場所/会場	内容・目的・テーマ等
第18回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会 競技別打合せ	4月2日(火) 4月3日(水) 4月5日(金) 4月12日(金) 4月18日(木)	兵庫県庁ほか	ルール変更の確認 各スポーツ団体等との顔合わせ

第18回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会 事前説明会	4月25日（木）	兵庫県福祉センター	各競技責任者による参加申込者等への最終説明
第18回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会 開催	5月11日（土） 5月12日（日） 5月18日（土） 5月25日（土） 5月26日（日）	県立三木総合防災 公園内陸上競技場 ほか	大会の開催（各競技の進行、運営を実施）
のじぎくスポーツ大会 競技責任者の意見 交換会（反省会）	7月30日（火）	兵庫県福祉センター	第18回兵庫県障害者のじぎく スポーツ大会の反省と課題、ほか
第1回ユニバーサルなス ポーツ施設検討会	8月9日（金）	兵庫県庁	圏域・市町域でのインクルーシブ なパラスポーツ拠点づくりを進 める検討会
第1回神戸市障害者スポ ーツ推進プロジェクト委 員会	8月22日（木）	神戸市教育委員会	神戸市立特別支援学校における 部活動の地域移行に関する会議
第2回ユニバーサルなス ポーツ施設検討会	9月11日（水）	神戸市磯上体育館ほ か	体育施設視察
第3回ユニバーサルなス ポーツ施設検討会	9月18日（水）	兵庫県立障害者スポ ーツ交流館	体育施設視察
第4回ユニバーサルなス ポーツ施設検討会	10月11日（金）	兵庫県庁	圏域・市町域でのインクルーシブ なパラスポーツ拠点づくりを進 める検討会
各競技の代表選手 強化練習会	8月以降	神戸六甲ボウル、 明石市陸上競技場 ほか	陸上競技・フライングディスク 水泳・ボウリング等各競技代表 選手の強化練習

特別全国障害者 スポーツ大会兵庫県 選手団結団式	10月15日（火）	兵庫県公館	結団式及び説明会
第23全国障害者スポー ツ大会「SAGA2024」 参加	10月24日（木） ～10月29日 （火） ※移動日含む	SAGAスタジアム 他、佐賀県内各競技 会場	全国障害者スポーツ大会に 役員派遣
第19回兵庫県障害者 のじぎくスポーツ大会 打合せ	11月25日（月）	兵庫県福祉センター	次回大会へ向けて兵庫県担当者 との打合せ
第19回兵庫県障害者 のじぎくスポーツ大会 競技担当者会議	12月18日（水）	兵庫県福祉センター	各競技担当との顔合わせ及び打 合せ
第19回兵庫県障害者 のじぎくスポーツ大会 エントリー説明会（団体）	令和7年 1月9日（木）	兵庫県福祉センター	大会日程、エントリーについての 説明
第2回神戸市障害者スポ ーツ推進プロジェクト委 員会	令和7年 1月20日（月）	神戸市教育委員会	神戸市立特別支援学校における 部活動の地域移行に関する会議
第19回兵庫県障害者 のじぎくスポーツ大会 エントリー説明会（個人）	令和7年 1月30日（木）	兵庫県福祉センター	大会日程、エントリーについての 説明
第19回兵庫県障害者 のじぎくスポーツ大会 事前説明会（団体競技）	令和7年 3月3日（木）	兵庫県福祉センター	各競技責任者による参加申込者 等への最終説明
兵庫県障害者スポーツ協 会理事会	令和7年 3月5日（水）	神戸市教育会館	理事会
第19回兵庫県障害者 のじぎくスポーツ大会 陸上競技現地打合せ	令和7年 3月13日（木）	加古川陸上競技場	大会会場視察、打合せ
第19回兵庫県障害者 のじぎくスポーツ大会 （サッカー、ソフト）開催	令和7年 3月22日（土）	県立三木総合防災 公園	大会の開催（各競技の進行、運 営を実施）

第5回ユニバーサルなスポーツ施設検討会	令和7年 3月26日(水)	兵庫県庁	圏域・市町域でのインクルーシブなパラスポーツ拠点づくりを進める検討会
---------------------	------------------	------	------------------------------------

権利擁護委員会 事業報告

事業名	日程	場所	内容
令和6年			
委員会	5月7日(火)	兵庫県福祉センター	活動内容・進め方の確認
委員会	8月8日(木)	兵庫県福祉センター	研修の準備と確認
権利擁護 虐待防止研修 ～合理的配慮～	12月3日(火)	こうべ市民福祉 交流センター	講義・グループディスカッション 講師：関西福祉大学 谷口 泰司氏 44名参加
令和7年			
委員会	2月19日(水)	兵庫県福祉センター	今年度の事業報告、来年度の事業計画について

今年度も関西福祉大学の谷口教授にご協力いただき、合理的配慮についての研修を行ないました。差別と虐待の関係や障害者差別解消法の概要、合理的配慮の留意点だけでなく、物理的環境面や情報提供・意思疎通、支援上など各場面に応じた合理的配慮の例なども聞け、参考になりました。

広報委員会 事業報告

今年度は月1回会議を行い主に県知協ニュースの内容の打合せ、協会会員ページのリニューアル、県知協ロゴマークの募集など下記の活動を行いました。

- ・県知協ニュースの発行

発行スケジュールのずれ等はあったものの予定していた年 2 回（10月・2月）の発行を行いました。内容は地区や部会・委員会によってはまだ活動できていない状況であるが、各地区での状況や活動内容の報告、また今年度も広報委員が新規事業所を訪問し事業所の特色や活動内容などを掲載し、発行しました。

- ・会員ページリニューアルについて
会員事業所のみなさまにとって活用しやすいよう会員ページを一新し今後も知りたい情報や県知協の活動内容が随時更新される HP であるよう努めてまいります。
- ・県知協ロゴマーク募集及び決定
令和 6 年 11 月 6 日から募集を開始し、締め切り日の 1 月 6 日までに 80 作品もの応募をいただきありがとうございました。厳選な審査の結果、1 作品を選ばせもらい、101 号の県知協ニュースから新しいロゴを使用させていただきます。なお、選ばれた方には令和 7 年度総会で表彰式を行う予定です。

人材確保委員会 事業報告

委員 3 名で構成され委員会にて情報の共有を行いました。他を知ることで自法人に還元することができまた他法人へのコンサルティング（相談）に活用できました。

今年度の事業計画において、委員のみならず、加盟法人の皆様にも委員会へご参加いただけるように発信はしてはしておりましたが、参加はありませんでした。

人材確保に関する「情報交換会」を実施しました。加盟する 5 つの法人から 45 名の皆さんに参加していただき、活力ある情報交換の場となりました。

また、セミナーやフェアの企画と実施に向けた協議も行いました。

対面での就職フェアでは集客が見込めない時代となり、ICT を活用した啓発活動と、ターゲットを「新卒者」にこだわらず、「再就職者」に着目するなどの案を持ち寄り、就職セミナー開催の企画を行いましたがいまだ実現には至りませんでした。

令和 6 年度の活動報告を下記表に示します。

事業名	期日	場所/会場	内容・目的・テーマ等
人材確保委員会 運営会議	全 7 回	兵庫県福祉センター等	就職セミナー、就職フェアについて その他情報の共有 等

情報交換会	5月31日	兵庫県福祉センター	「採用市場の動向、人材確保のチーム体制の構築がなぜ必要なの？」等
-------	-------	-----------	----------------------------------

研修委員会 事業報告

新研修システム始動の初年度、各地区会、部会、委員会などの協力により、多少の実施時期に遅れはありましたが、研修年間計画に挙げていた全ての研修を実施した結果、450名を超える受講者となりました。令和5年度まで県知協研修のあり方検討会で検討してきた、研修の考え方・研修体系・研修内容と実施担当等々、協会内で進めてきた研修をより効果のある新研修システムにすることができました。

自法人及び自施設において取り組まれているO-JTは、障害福祉人材育成のカギを握りますが、それ以外にも外部で実施されている研修会への参加は、その一助となる重要な取り組みとなります。県知協に加盟する法人及び事業所のさらなる研修の活用（受講）に期待しました。

また、兵庫県社会福祉協議会人材研修センターとのタイアップで、各種団体の研修情報や課題を当協会の研修にも繋げていきました。

活動報告を下記表に示します。

事業名/研修名	日時	内容等
新任職員研修	8月8日(木)	担当：支援スタッフ委員会 場所：複合型交流拠点ウィズあかし テーマ：接遇マナー 講師：動画視聴 参加者：41名
新任施設長等研修	8月27日(火)	担当：神戸地区 場所：兵庫県福祉センター 202号 テーマ：新任施設長としての職務を遂行していく上での心構えや施設・事業所の管理運営、職員管理について 講師：(株)経営開発センター代表取締役社長 野崎悦雄氏 参加者：23名
新任監督職研修	8月29日(木)	担当：阪丹但地区

初任者職員研修	9月10日(火)	<p>場所：三田市総合福祉保健センター 講座室</p> <p>テーマ：チームをまとめる上で必要なことは何か</p> <p>講師：武庫川女子大学 心理・社会福祉学部教授 松端克文 氏</p> <p>参加者：51名</p>
		<p>担当：支援スタッフ委員会</p> <p>場所：社会福祉法人明石市社会福祉協議会</p> <p>テーマ：意思決定支援</p> <p>講師：社会福祉法人明石市社会福祉協議会 明石市基幹相談支援センター 虐待防止センター長 後藤謹武 氏</p> <p>参加者：44名</p>
令和6年度 社会福祉研修委員 会(第1回)	10月10日(木)	<p>主催：兵庫県社会福祉協議会 福祉人材研修センター</p> <p>場所：兵庫県福祉人材センター 研修室1</p> <p>内容：(1) 令和5年度研修等実施状況 (2) 令和6年度上半期研修等実施状況 (3) 効果的な人材育成に向けた検討課題</p>
看護師研修	10月2日(水)	<p>担当：神戸地区</p> <p>場所：社会福祉法人 陽気会 ホール</p> <p>テーマ：BCPに伴う感染症予防対策について</p> <p>講師：社会福祉法人陽気会 医療連携室 臨床検査技師 大島由香利 氏</p> <p>参加者：41名</p>
事務職員研修	11月18日(月)	<p>担当：播淡地区</p> <p>場所：アクリエ姫路</p> <p>テーマ：知的障害者施設における事務員の仕事と役割</p> <p>講師：はりま総合福祉評価センター 理事長 河原正明氏</p> <p>参加者：52名</p>
権利擁護・ 虐待防止研修	12月3日(火)	<p>担当：権利擁護委員会</p> <p>場所：こうべ市民福祉交流センター</p> <p>テーマ：合理的配慮</p>

強度行動障害支援者研修	12月9日(月)	講師：関西福祉大学教授 谷口泰司氏 参加者：44名 担当：強度行動障害 SV 養成事業拠点 場所：兵庫県福祉センター 多目的ホール テーマ：強度行動障害を示す方への標準的な支援 講師：強度行動障害 SV 養成事業拠点スタッフ 参加者：90名
研修委員会打合せ	12月10日(火)	場所：社会福祉法人福成会 塚口福成園 内容：研修振り返り
支援力パワーアップ研修	12月19日(木)	担当：支援スタッフ委員会 場所：あすてっぴん神戸 テーマ：支援力を高めるために 支援の理論と方法のアップロード・支援としてのエンパワメント 講師：武庫川女子大学 心理・社会福祉学部教授 松端克文氏 参加者：34名
栄養士・厨房職員研修	令和7年 1月23日(木)	担当：神戸地区 場所：あすてっぴん神戸 セミナー室3 テーマ：BCPに伴う準備と被災した際の対応について 講師：社会福祉法人 宝塚さざんか福祉会 宝塚あしたば園 管理栄養士 藪内一美氏 参加者：35名
施設長等研修	1月28日(火)	担当：正副会 場所：兵庫県福祉センター 多目的ホール テーマ：カスタマーハラズメントへの対応 講師：大倉山法律事務所 多田徹氏 参加者：27名
令和6年度 社会福祉研修委員	2月18日(火)	主催：兵庫県社会福祉協議会 福祉人材研修センター 場所：オンライン

会（第2回）		内容：(1) 令和6年度研修実施状況報告 (2) 令和7年度研修事業計画（案）
--------	--	--

政策委員 事業報告

○『令和7年度 兵庫県の社会福祉政策への提言』を以下の項目について行いました。

- 1 物価高騰への助成 障害福祉課
- 2 強度行動障害に関する支援体制の充実
- 3 補足給付の基準費用額の上限の変更
- 4 マイナンバーカード取得に向けた支援
- 5 福祉・介護職員処遇改善加算の対象職種の拡大
- 6 障害支援区分の認定調査に係る判断

○兵庫県での活動

各部会の開催する研修や情報交換会等に参加し、情報の共有と意見集約を中心に行いました。特に、調査研究委員・権利擁護委員会と連携し取り組んでいる「意思決定支援ガイドライン（兵庫県モデル）」作成について、今後の県内での実践的な取り組みへ繋げることを念頭に置き、部会と連携を密に取り、検討会、情報集約、取りまとめ等協力して取り組みました。また、政策委員会の内容について役員会で報告しました。

○近畿地区政策委員会へ参加

近畿地区政策委員会へ参加しました。政策委員長・樋口会長より、日本知的障害者福祉協会政策委員会の活動報告および制度について、地方会との情報共有・意見交換を行いました。

主要な内容として、令和6年度報酬改定の検証、重度障害者の地域生活を支える障害者支援施設や共同生活援助についての在り方、部会との意見交換、人材確保、物価高騰について、日本知的障害者福祉協会からの調査の協力等でした。開催日および内容については、以下の通りです。

*第1回近畿地区政策委員会

*第2回近畿地区政策委員会 7月8日（オンライン）

- 日本知的障害者福祉協会及び近畿地区役員体制
- 事業計画の確認
- 具体的スケジュール確認

- 各府県の情報交換
- * 第3回近畿政策委員会 10月16日（大阪府社会福祉会館）
 - 日本協会政策委員会報告及び各府県の情報交換
 - 近畿地域支援部会 岡本氏・石橋氏との意見交換
- * 第4回近畿地区政策委員会 12月9日（大阪府社会福祉会館）
 - 日本協会政策委員会報告及び各府県の情報交換
 - 障害者支援施設の在り方検討について

調査・研究委員 事業報告

令和6年度は大きく2つの活動を実施しました。報告内容は以下となります。

- 「親なきあと」を見据えた障害者受け皿確保事業におけるアンケート調査
兵庫県障害福祉課より受託した事業となります。共同生活援助、施設入所、在宅者を対象にアンケート調査を行いました。受け皿の状況や、重度障害者をGHや在宅で支援する際に必要とされる支援方法や設備等を把握するための調査です。地域移行の状況や親なきあとにおける内容についても、あわせてアンケートに組み込ませていただきました。

県としてはこの調査内容を受けて、今後必要な施策を考えていくということです。

「武庫川女子大学 教授 松端克文 氏」に調査協力を依頼し、最終調査報告を終えております。

- 意思決定支援ガイドライン兵庫県版（仮称）の作成

「意思決定支援プロセスの兵庫モデルの研究」を、兵庫県社協 社会福祉政策委員会 政策提言活動助成金の申請事業として実施しました。障害者が希望する地域生活等を実現し継続するため、またはより良い意思決定を行うための手法や技術を学び、効率的かつ効果的に意思決定をおこなうことができるよう「兵庫県における意思決定支援ガイドライン」をつくることを目標に進めてきました。

ガイドラインにおいて、概要のみならず、現場職員等が参考に出来るようなものにするべく作成中です。兵庫県としての色を出すべく、事例を多く入れ込んだものとする予定です。

「関西福祉大学 教授 谷口泰司 氏」、「明石市社協 後藤謹武 氏」に協力を依頼し、作成中です。

令和7年(2025年)度事業計画について

令和7年(2025年)度事業計画(案) について次のとおり承認を求めます。

令和7年5月28日(水)

一般社団法人 兵庫県知的障害者施設協会
会長 松端 信茂

令和7年（2025年）度 事業計画（案）

今年度の継続事業、新規事業についての事業計画を以下の通り提案いたします。

1. 新研修体系による協会研修の実施(継続)

新研修システム始動の2年目となります。各地区会、部会、委員会などの協力をいただく形で昨年度に続き、①階層別研修 ②職種別研修 ③重点研修 ④専門研修 の4つの研修項目を柱に実施いたします。

当協会の研修体系については、役員任期に合わせて、2年に一度見直しを行い、新たな福祉施策や知的障害福祉に柔軟に対応できるように研修調整会議で検討をして参ります。

各施設・事業所での人材育成に活用できるよう、定着した、当てにされる研修にするべく検討して参りますので、研修に対するご意見、ご要望がありましたらいただけますと幸いです。

2. 政策提言(継続)

○兵庫県への政策提言の実施

県行政への取り組みとして、兵庫県社会福祉協議会の実施する『兵庫県の社会福祉政策への提言』への意見提出を通して協会会員の意見を届けます。

地区会、部会が中心に意見を取りまとめます。

○近畿政策委員会への参加

報酬改定後の課題や意見徴収等、また止まらない物価高騰への対応等、近隣県との情報交換も行いながら日本知的障害者福祉協会政策委員会を通じて国に要望して参ります。

3. 強度行動障害スーパーバイザー養成事業の円滑な実施とスーパーバイザーの活用について(継続)

同養成事業の実施により昨年度末に「強度行動障害スーパーバイザー」が認定されました。と同時に兵庫県では広域的支援人材としての役割を担うこと

にもなりました。集中的支援への対応だけでなく、事業開始時の目的である地域福祉の担い手としての体制づくりを検討していきたいと思えます。

現行の同事業は、残り2年間で終了となりますが、支援者の(人材)育成は終了はありません。協会としての人材育成について積極的に取り組んでいきたいと思えます。

4. 強度行動障害支援委員会の設置(新規)

支援現場の困り感と人材育成の必要性から協会の強度行動障害者支援は始まりました。その中で県の協力もあり「強度行動障害スーパーバイザー養成事業」が開始されました。運営は実行委員会方式を取り、各拠点の実行委員が手探りの中、今日まで進めて参りました。その間に国の情勢も変化し、今では強度行動障害の方への支援は、障害者施策の中心的なものとなってきています。施策や支援を担う広域的支援人材や中核的人材の養成研修や集中的支援の対応等、同事業を越えた課題が多くなってきました。協会としてもこれらの課題や本来の人材育成、それを地域への支援に活用していく仕組みづくりや連携が必要となってきたことからこの度、協会内に「強度行動障害支援委員会」を設置し、取り組んでいくこととなりました。強度行動障害スーパーバイザー養成事業を経た人材を中心に支援環境や支援者目線にも対応した仕組みづくりに取り組んでいきたいと思えます。

5. 虐待防止の取り組み(継続)

権利擁護委員会を中心に、虐待事案、不適切事案が発生しないために、権利擁護・虐待防止研修を実施します。また、虐待事案発生時の協会としての対応フロー作りにも取り組んで参ります。

意思決定支援への取り組みに関しては、昨年より補助金を活用して「意思決定ガイドライン(兵庫県版)」作成に取り組んでいます。障害のある方の意思の尊重はもとより支援者側にとっても活用しやすいものを作成し、虐待の予防に努めていきたいと思えます。

6. 身体障害者支援施設協議会とのタイアップ事業(継続)

近年、身体障害者施設における行動障害者の割合(行動障害への対応の困難さ)や、知的障害者施設の高齢化(介護頻度、医療的ケアの高まり)と、両協会における対象課題が似かよってきています。互いの協会の支援スキル・ノウハウ

を活用したタイアップ事業に引き続き取り組んで参ります。

7. 委託事業(継続)

- のじぎくスポーツ大会の運営実施
- 障害福祉サービス等情報公表システム登録事項確認事業
- 強度行動障害スーパーバイザー養成事業
- 親なきあとを支える GH 支援力強化事業(新規)
- その他

神戸地区 事業計画

- ・ 定例会議の開催
施設長会・役員会・各部会、その他、必要な会議を適宜、開催する。
- ・ 研修の企画、実施
施設長研修、中堅職員研修、栄養士・調理員等の研修の企画、実施。
- ・ 神戸市福祉局障害者支援課から依頼を受け加盟施設から神戸市障害支援区分判定審査会委員を推薦、継続的に円滑な区分判定への協力を行う。
- ・ 関係機関・団体との交流と連携
各種関係機関と連携して合同行事、意見交換会、研修会等を実施する。
- ・ 法人、施設間の連携、ネットワーク化
面的整備、重層的支援に向けた連携の強化
- ・ 神戸市保健福祉局等、関係行政機関との協働
災害時に備えた福祉避難所登録事業所の訓練を実施
神戸市高齢者介護士認定試験及び講習会への参加
障害福祉施設キャリアアップ検討会(神戸市設置)への参加と研修の協同開催
障害福祉施策やそれに係る予算に意見交換や協働

- ・ 会員数の拡大と法人格の取得に向けた準備
規約の改正による入会要件の緩和及び入会手続きの簡素化を図ることで会員数の拡大を目指す。
- ・ 障害者スポーツ大会やジョフルコンサート等のイベント事業への継続的な協力を行う。

阪丹但地区事業計画

当協会の目的である「障がい福祉サービスの福祉増進と従事者の資質向上や相互間の連携の向上」を具現化できるよう、県知的障害者施設協会と当地区の連携強化に努め、様々な課題に対しての対応を行っていきます。また、県知的障害者施設協会と足並みをそろえながら阪丹但地区の会員の皆さまの意見にも耳を傾け、その内容を反映できるよう進めてまいります。

県知的障害者施設協会が行っている「兵庫県キャラバン」については、この4年間で但馬・丹波/丹波篠山・阪神北部地区にて開催しました。「地域の課題を聞く」という趣旨を踏まえ、今後については一定の期間を置いて再開する予定です。

県知的障害者施設協会で見直しを行った研修体系について、今年度阪丹但地区では新任監督職研修・監督職研修を行う予定です。

地区としては今年度、役員での施設見学を行います。関心が高まっているICTの活用について知識を深め、地区内の加入施設と共有します。

兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会の競技責任者につきましては、引き続き円滑に競技準備や運営が行われるように、また会員施設・事業所間の横のつながりも継続していけるような連携強化にも協力していきます。

【予 定】

日時	事業名（内容）	場所
5月12日	令和7年度 総会 《1部》 令和6年度事業報告及び決算 令和7年度事業計画(案)及び予算(案) 《2部》	三田市総合福祉保健センター

	のじぎくスポーツ大会競技責任者担当者会・ 情報交換会等、検討中	
8月上旬	新任監督職研修	
11月上旬	監督職研修	
12月	公開事例発表会（阪神福祉事業団との共催）	阪神福祉事業団内
未定	施設見学(役員による)	調整中

【その他】

- 定例役員会（隔月1回 奇数月を中心に予定）
 - ・各研修等企画について
 - ・県知的障害者施設協会各委員会・部会スタッフと阪丹但地区の連携について
 - ・兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会の競技責任者（4種目）について
- 強度行動障害スーパーバイザー養成事業
 - ・兵庫県からの委託事業として、県下に10拠点が事業に参加しました。うち4か所（福成会・三田谷治療教育院・とよおか福祉会・丹南精明園）が、阪丹但地区で中心となって強度行動障害についての専門性を高めるべく受講し、昨年度末に1拠点からSV認定者を輩出しました。今後は、地域の施設・事業所への支援力向上のために活動して参ります。

播淡地区事業計画

事業推進の考え方

- 新型コロナウイルス感染症は未だに終息には至っておらず、地域交流も含めコロナ禍以前の運営を取り戻せていない事業所も見受けられます。感染対策は引き続き進めていかなければなりません。また事業運営も厳しく、人手不足や物価高騰など、様々な課題が浮き彫りになっています。これらの課題を共有し、最優先で取り組むべき課題をまとめ県知協に要望していきます。
- 昨年度、事業運営に関するテーマで県知協兵庫県キャラバン事業を実施しました。今年度県知協のキャラバン事業としては実施しませんが、会

員施設が抱えている問題を共有しながら、最優先課題を取りまとめ、県知協を通じて国・県に要望していきます。

- 利用者への虐待はあってはならないことであり、障害者支援に携わる施設・事業所への信頼を失うことにもつながります。「障害者虐待防止法」「障害者差別解消法」などの理念や目的等などを踏まえ、利用者の人権擁護と虐待の未然防止に努めます。
- 播淡地区の伝統である「スポーツ事業」「文化事業」「研修事業」「研究事業」については、今年度についても、新型コロナの感染状況を見極めながら、職員代表者会を中心に事業を推進し、職員の資質向上と利用者交流に努めます。
- 昨年度より県知協における研修体系が変更され、今年度は、播淡地区が「新任施設長等研修」を企画します。施設長会役員会が中心となり進めて行きます。
- のじぎくスポーツ大会」について準備が進められています。会員施設・事業所の協力を得て持ち回り方式による運営を行います。利用者、関係者の健康上の安全確保及び集団感染予防の観点から、主催者側と確認をしながら、より良い競技運営に努めます。

(2) 施設長会事業

- 地区会員施設の施設長を対象とする研修を開催し、施設長等の資質向上に努めるとともに、経営に関するさまざまな問題について会員施設間で共有します。
- 会員施設・事業所が抱える課題等を協議し、その解決を図るため定期的に役員会を開催するとともに、必要に応じて正副会長三役会等を行い、効果的・効率的な播淡地区の運営に努めます。

2 スポーツ事業

第37回 ばんたん親善運動会（規模・時間を縮小して開催予定）

日時	令和7年5月30日（金）9:00～17:00
場所	加古川運動公園陸上競技場
参加者	播淡地区施設協会加盟施設及び開催地事業所 600名

目的	播淡地区の施設及び事業所利用者が運動会を通して親睦を深めつつ、知的障害者の社会的認知の向上を図る。
----	---

3 研修事業 年2回開催する

日時 テーマ 講師	令和7年7・11月頃で調整中 第1回 (仮)「思いこみを想いなおそう」 村上 有香さん(ダウン症) 村上 喜美子さん(母親) 株式会社 Lean on Me 代表 志村 駿介 さん 第2回 (仮)「スポーツで地域と繋がる」 AS ハリマアルビオン株式会社代表 岸田 直美 さん
場所	第1回 姫路市総合福祉会館 第2回 兵庫大学
参加者	播淡地区施設長会及び県知協加入施設の職員等 約60名ずつ 合計120名
目的	・1～3年目の新人職員を対象とし、ダウン症の方の成人期における課題や幅広い生活のありかたを学んでいく。また、障害のある方の生きづらさの実体験や産学福連携をもとにした研修企画を試みたい。その中でグループワーク等の時間を設け、互いに情報を共有し、仲間を作る事を目的とする。

4 研究事業

第39回 播淡地区施設長・職員合同研究会

日時	令和7年8月27日(水)10:00～16:30で調整中
場所	BizSpace 姫路
参加者	播淡地区施設長会及び県知協加入施設の管理者・代表者・職員等 約100名
テーマ 講師	午前 福祉施設職員の為のストレスケア研修(仮) 午後 福祉施設の課題解決に向けてのディスカッション(仮) 講師 未定
目的	・午前の研修については、福祉現場の状況に精通した講

	<p>師を招き施設におけるストレスの対処方法について学ぶ機会とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 午後は、午前の流れを受けて、参加者が実際に、日々職場で抱えている課題を持ち寄り、ディスカッション形式で意見交換を行いながら、それぞれの課題解決に繋げていけるような研修を目的とする。
--	---

5 文化事業

第3回 ばんたん・ゆうあい作品展

日 時	令和7年11月27日(木)～12月1日(月) 5日間
場 所	姫路市民プラザ イーグレ姫路(予定)
参加者	播淡地区施設長会及び県知協加入施設
目 的	播淡地区の知的障害がある人たちの作品展を通して日々の取り組みを知ってもらい機会とし、知的障害がある人たちについての啓発活動の一助とする。

児童発達支援部会 事業計画

令和6年度の報酬改定が行われて1年が経過しました。支援現場へどのような影響あったかの児童発達支援部会として、情報共有が必要となります。

通園施設、入所施設ともに各関係行政との連携や提言を行うべく、意見交換と課題整理ができるよう活動を進めます。また、職員の情報交換会を開催し、顔の見える関係づくりを行います。

事業名	期日	場所/会場	内容・目的・テーマ
児童発達支援部会	年3回開催	未定	今年度の活動打ち合わせ
職員情報交換会	年1回	未定	職員交流・意見交換
各行政機関との意見交換会	年1回	未定	各行政機関との意見交換

障害者支援施設部会 事業計画

今年度も各会員施設・事業所の皆さまと令和7度より義務化となる“地域連携推進会議”やその他“意思決定支援”など新たな取り組みの中で、それらの実施にあたり個々の事業所で悩むことなく、出来る限り多くの会員の皆さまとの情報共有の場として、意見や情報交換の場を企画していきます。自法人以外の方と顔見知りとなり、いつでもつながることのできる関係性の構築の場としても考えています。また“住まいのあり方”については今後、ご利用者の生活に直結する必須となる課題です。地域生活部門や相談部門などとも連携し、少しでも施策提言につなげていく部会活動を行っていきます。

日 程	内 容	場 所 等
令和7年6月頃	第1回部会役員会	兵庫県福祉センター
令和7年8月頃	第2回部会役員会	兵庫県福祉センター
令和7年9月頃	情報交換会	阪丹但地区内またはオンライン
令和7年11月頃	情報交換会	神戸地区内または播磨地区内
令和8年1月頃	第3回部会役員会	兵庫県福祉センター

日中活動支援部会 事業計画

「生活介護」という幅広い支援や活動の在り方について協議検討を行い、加盟事業所のなかで重度利用者の社会参加の促進と意思決定支援を推進していくために調査や情報交換会等を企画・実施していきます。

事業名	期日	場所・会場	内容・目的・テーマ等
部会	10月頃	兵庫県福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> サービス提供時間や重度支援加算等の事業所運営状況の共有 重度利用者の個別支援会議への同席や意思決定支援に関する勉強会 各地区報告・情報交換
近畿部会	年3回	大阪知的福祉協会事務局等	中央情勢、各都道府県担当者間の取組みの共有や親睦交流

生産活動・就労支援部会 事業計画

令和 7 年度の実産活動・就労支援部会は、新設される事業（就労選択支援事業）の内容の把握に努め、昨年度に引き続き情報の発信ができるよう企画していると考えています。また、就労継続支援の在り方について事業所の課題に着目し、課題の共有を図りながら「政策提言」に繋げられる部会運営を目指します。

《実施事業》

1 生産活動・就労支援部会「第 3 回今と未来を考える会議」の開催

- ① 目的：10 月から開始される就労選択支援事業について、知見を広めるための情報の発信を行い、講師を交えて今後の事業所のあり方について研修を行う。また、生産活動と就労支援に係る多様な課題について検討し、次期制度改定等に向けた政策提言に繋げる。
- ② 開催時期：8 月頃を予定

2 「生産活動・就労支援事業所 見学会」の実施

- ① 目的：先進的・特徴的な生産活動・就労支援に取り組む事業所または障害者雇用へ積極的に取り組む企業を訪問し、その事業内容を学びながら今後の事業所運営の参考とする
- ②開催時期：11 月頃を予定

地域支援部会 事業計画

今年度、近畿地区の地域支援部会では、令和 7 年 12 月頃を目処に近畿地区グループホーム等研修会を和歌山県で開催します。テーマは「未来につなぐ」で、内容は多様化するグループホームの運営と支援のあり方についてです。令和 6 年度より準備に入り、今年度は、令和 7 年 5 月頃に役員会を開催しています。

社会福祉法人と民間が競合するグループホームにおいて、地域支援部会の在り方や運営方法なども含めて考えていきたいと思っています。

更に、今年度より県の委託事業として「グループホーム支援力強化事業」が開始されることとなり、グループホーム職員の障害者支援についての資質向上のため、部会としても尽力していきたいと思ひます。

相談支援部会 事業計画

令和6年度は、相談支援部会を3回開催し、会員事業所の名簿作成と兵庫県内の相談支援事業所対象に実態調査アンケートを行いました。令和7年度は、部会において会員事業所の支援状況等を意見交換します。また、実態調査の結果をふまえて、会員事業所間での勉強会を企画します。

会員事業所が11事業所しかなく、非常に少ない状況です。会員事業所の増加に向けた取り組みを進めていきたいと思えます。

支援スタッフ委員会 事業計画

県知協の定める研修体系に基づき、障害福祉人材確保の観点から育成及び定着が重要であると考え、新任職員（概ね0～2年）と初任者（概ね3～5年）、中堅職員（5年以上）を対象とした研修会を開催します。

新任職員向けの研修に関しては、就業2年以内の職員を主な対象としますが、新卒者だけでなく、他業種からの採用者も多いことから、障害福祉の専門知識を学ぶこと以外にも、施設見学等の企画も検討します。

初任者向けの研修会に関しては、就業5年以内の職員を主な対象としまして、専門意識の向上に努めます。

中堅職員向けの研修に関しては、リーダー力・育成力の向上を目的とした研修企画を検討します。

いずれも、職員間交流を行い、多くの仲間がいる事、違った視点がある事等自己啓発といった面も狙いとして行います。

事業名	期日	場所/会場	内容・目的・テーマ等
3地区意見交換会 (年4回)	令和7年4月 令和7年8月 令和7年11月 令和8年2月	兵庫県福祉センター	事業予定・活動内容の確認 各地区報告・情報交換 研修会・イベントの打合せ
初任者研修会	令和7年6月19日	兵庫県福祉センター	意思決定支援の重要性等、その情勢にあった内容を検討
新任職員研修	令和7年9月頃	兵庫県福祉センター	障害の基本的知識等
中堅職員研修	令和7年12月頃	兵庫県福祉センター	チーム、リーダーシップ論、KYT トレーニング等

第19回スポーツ交流会	未定	未定	スポーツ振興、施設間・利用者交流
-------------	----	----	------------------

スポーツ委員会 事業計画

兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会は、県内の障害者がスポーツを通じて体力の維持増進と社会参加意欲の高揚を図るとともに、県民の障害者に対する理解と認識を深め、交流を広げることを目的としています。

また、2025年に滋賀県で開催される第24回全国障害者スポーツ大会「わたし SHIGA 輝く障スポ 2025」の県予選も兼ねて実施します。

その他の活動として、兵庫県障害者スポーツ協会や兵庫県ユニバーサル推進課、神戸市教育委員会などが開催する会議やイベントにも参加していきます。

事業名	期日	場所/会場	内容・目的等
第19回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会 競技別打合せ	4月上旬	兵庫県庁ほか	ルール変更の確認 各スポーツ団体等との顔合わせ
第19回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会（バスケットボール）開催	4月19日（土）	兵庫県立障害者スポーツ交流館	大会の開催（各競技の進行、運営を実施）
第19回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会 事前説明会（個人競技）	4月23日（水）	兵庫県福祉センター	各競技責任者による参加申込者等への最終説明
第19回兵庫県障害者のじぎくスポーツ大会 開催	5月10日（土） 5月17日（土） 5月18日（日） 5月24日（土）	加古川陸上競技場 障害者スポーツ交流館 ほか	大会の開催（各競技の進行、運営を実施）
全国障害者スポーツ大会兵庫県派遣選手選考委員会	6月上旬	兵庫県民会館	県知協会長が、全国大会代表選考会に出席

兵庫県知協競技責任施設 担当者による反省会	8月1日（金）	兵庫県福祉センター	第19回兵庫県障害 者のじぎくスポー ツ大会の反省と課 題の整理
第24回全国障害者スポ ーツ大会兵庫県代表選手 強化練習会	9月初旬～末	明石市陸上競技場 ほか	各競技強化練習
第24回全国障害者スポ ーツ大会 兵庫県選手団 結団式	10月中旬	兵庫県公館	結団式及び競技等 説明
第24回全国障害者スポ ーツ大会「わたSHIGA輝 く障スポ2025」	10月25日 （土） ～10月27日 （月）	滋賀県	全国障害者スポー ツ大会に 兵庫県選手団派遣
第19回兵庫県障害者 のじぎくスポーツ大会 エントリー説明会	令和7年 1月下旬頃	兵庫県福祉センター	大会日程、エント リーの説明

権利擁護委員会 事業計画

事業名	日程	場所	内容
令和7年			
委員会	5月	兵庫県福祉センター	活動内容・進め方の確認
委員会	8月	兵庫県福祉センター	研修の準備・確認
権利擁護 虐待防止研修	10月	兵庫県福祉センター	研修
令和8年			
委員会	2月	兵庫県福祉センター	今年度の事業報告、来年度の 事業計画について

上記のように虐待防止の取り組みに加えて、いざ発生した場合の適切な対応も重要であることから今年度、虐待事案発生時の協会としての対応スキームの作成についても委員会として取り組んで参ります。

広報委員会 事業計画

本年度も協会のHPの活用及び広報誌の発行を中心に活動を進めていきます。

1. 県知協ニュースの発行

年2回（10月・3月）の予定で協会活動についての情報発信や、各地区会等での研修報告、特集記事等を協会HPとの共有や有効活用します。また広報委員が事業所を訪問し、事業所の特色や活動内容などを掲載等、企画・発行を行っていきます。

2. 協会HPの有効活用

協会活動（役員会・地区会・部会・委員会などからの活動内容の報告・更新）の発信や、WEB動画を活用した研修、部会等からのアンケート調査、会員施設・事業所からのイベント情報等、会員施設・事業所等にとって役に立つHPの運営を行っていきます。

3. 協会ロゴマークの活用

昨年度に決定した協会ロゴマークの有効的な活用について随時検討・実施して参ります。

本年度も協会のHPの活用及び広報誌の発行を中心に活動を進めていきます。

※県知協会員ページのパスワードを別紙のとおり更新いたします。

人材確保委員会 事業計画

持続的な人材確保の実現のために、求職者に向けた障害福祉事業の啓発に努めます。

1 ホームページの活用

求職者及び、加盟法人が扱いやすいページにリニューアルを行う。

2 情報交換会の開催

令和7年5月に実施予定

- 3 就職セミナーの開催
令和7年9月実施に向けて進める
- 4 兵庫県福祉人材センター運営委員会への参加
年2回を予定している。就職フェアにつきましては、人材センターとのタイアップで実施し、各加盟事業所が参加しやすいフェアにする。また、本委員会を活用した広報活動を行い、求職者の参加増を図る。

研修委員会 事業計画

新研修システム始動の2年目、各地区会、部会、委員会などの協力により実施します。昨年度に続き4本の柱をもって研修体系を構成しています。①階層別研修（キャリアアップを支援する研修）・②職種別研修（看護師や栄養士等の少数職員の職種に焦点をあてた交流を中心とする研修）・③重点研修（国や県の施策を反映させて県知協が重点的に取り組む研修）・④専門研修（部会や委員会が政策的課題を意識して専門知識や支援技術の向上に取り組む研修）を実施します。

研修体系は役員任期に合わせて、2年に一度見直しを行い、新たな福祉施策や知的障害福祉に柔軟に対応できるように今年度は研修調整会議で検討をします。

引き続き、研修の考え方・研修体系・研修内容と実施担当等々、協会内で進めてきた研修をより効果のある研修体系の確立を目指しますので、積極的に研修を活用（受講）してしてもらえよう期待しています。

- 1 協会ホームページを活用した研修案内の確立
- 2 次年度に向けて、各研修の内容や担当調整を研修調整会議で検討
- 3 兵庫県社会福祉協議会研修委員会への参加（年間2回）
- 4 兵庫県社会福祉協議会研修向上に関する情報交換会への参加(随時)

活動計画を下記表に示します。

事業名/研修名	日 時	内 容 等
初任者職員研修	6月（上旬）	担当：支援スタッフ委員会
新任施設長等研修	7月（上旬）	担当：播淡地区
新任監督職研修	8月（上旬）	担当：阪丹但地区 場所：三田市総合福祉保健センター 講座室 講師：武庫川女子大学 心理・社会福祉学部教授 松端克文 氏
新任職員研修	9月（上旬）	担当：支援スタッフ委員会
看護師交流研修	9月（下旬）	担当：神戸地区
研修調整会議 （第1回）	9月頃	場所：兵庫県福祉センター 内容：令和8年度からの研修体系について
令和7年度 社会福祉研修委員 会（第1回）	10月頃	主催：兵庫県社会福祉協議会 福祉人材研修センター 場所：兵庫県福祉人材センター 研修室1 内容：(1) 令和6年度研修等実施状況 (2) 令和7年度上半期研修等実施状況 (3) 効果的な人材育成に向けた検討課題
権利擁護・ 虐待防止研修	10月（上旬）	担当：権利擁護委員会 講師：関西福祉大学教授 谷口泰司 氏
監督職研修	11月（上旬）	担当：阪丹但地区 場所：三田市総合福祉保健センター 講座室 講師：武庫川女子大学 心理・社会福祉学部教授 松端克文 氏
強度行動障害支援 者研修	12月（上旬）	担当：強度行動障害支援委員会
中堅職員研修	12月（下旬）	担当：支援スタッフ委員会

研修調整会議 (第2回)	12月頃	場所：兵庫県福祉センター 内容：令和8年度からの研修体系について
栄養士・厨房職員 研修	令和8年 1月(上旬)	担当：神戸地区
令和7年度 社会福祉研修委員 会(第2回)	2月頃	場所：オンライン 内容：(1) 令和7年度研修実施状況報告 (2) 令和8年度研修事業計画(案)
研修向上に関する 情報交換会	不定期	場所：オンライン 内容：他団体との研修情報交換

強度行動障害支援委員会 事業計画

兵庫県では行動障害を示す方への支援として、強度行動障害地域生活支援事業・強度行動障害SV(スーパーバイザー)養成事業・強度行動障害支援者養成研修(基礎・実践)があります。

令和4年度から兵庫県からの委託事業として実施してきた強度行動障害SV養成事業は福祉圏域8カ所10拠点に拡大しました。この事業の3年間のプログラムを修了した11名の受講者が、兵庫県からSV(広域的支援人材)として認定されました。令和6年度の報酬改定において中核的人材と広域的支援人材の仕組みが打ち出され、兵庫県では令和7年度から集中的支援加算の運用が開始されます。

上記の2つの事業や研修で連携・調整が必要であり、また広域的支援人材の活用を拡げるため、強度行動障害支援委員会を設立することになりました。

1. 行動障害を示す前の予防的な支援が行える事業所を増やす
2. 兵庫県全域で標準的な支援が提供できる人材を育成する

この2つを目標に委員会を運営し、令和7年度は運営の準備期間のため下記の内容を実施します。

期日	内容・テーマ	参加者
5月	強度行動障害地域連携推進会議の開催方法、兵庫県発達障害者支援センターとの連携について	強度行動障害支援委員、地域支援マネージャー、強度行動障害SV養成事業 実行委員・コアメンバー

7月	集中的支援加算（Ⅰ）（Ⅱ）の実施体制の整備と広報について	強度行動障害支援委員、地域支援マネージャー、強度行動障害SV養成事業 実行委員・コアメンバー
9月	強度行動障害地域連携推進会議の開催	強度行動障害支援委員、地域支援マネージャー、兵庫県認定のSV、
12月	研修計画の策定、令和8年度に向けて	強度行動障害支援委員

また、強行SV養成事業終了後の体制づくりについては、県社協助成金を活用して調査・検討して参ります。

政策委員会 事業計画

- 『令和8年度 兵庫県の社会福祉政策への提言』の取りまとめと提言
- 「意思決定支援ガイドライン（兵庫モデル）」にかかる取り組みの推進
- 近畿地区政策委員会への参加
- 日本知的障害者施設協会の活動への協力（アンケート調査、要望への意見提出等）

・令和7年度の主要な活動については、兵庫県での各部会の開催する研修や情報交換会等に参加し、情報の共有と意見集約を行います。

また、令和6年度より調査研究委員会・権利擁護委員と連携し「意思決定支援ガイドライン（兵庫県モデル）」作成に取り組んでいます。意思決定支援については、日々の支援の中で様々な取り組みが行われていますが、今後の障害者支援の在り方における考え方の基盤となるものであり、各法人が内容を再確認する必要があります。今後、更に調査研究委員と議論を深め、モデル事業や研修、普及活動などを進める予定となっています。各地域と共有すると共に、各部会とも連携し、意思決定支援の実践の積み上げを進め、兵庫県としての事例や情報の集約、検討事項の取りまとめ等を行い、政策提言へ繋げたいと考えています。

・近畿地区政策委員会への参加（年4～5回）、そこで報告される日本知的障害者福祉協会政策委員会の活動報告と制度についての兵庫県の協会としての意見を取りまとめ、意見提出を行うこと、また日本知的障害者福祉協会からのアンケート調査の実施、取りまとめ、提出などを事務局と協力して行います。

主要な課題としては、重度障害者の地域生活を支える障害者支援施設や共同

生活援助についての在り方検討、令和9年度報酬改定へむけての検証、賃金向上の課題、部会との意見交換、経過措置延長の内容の恒久化に向けた議論、日本知的障害者福祉協会からの調査の協力等。第1回は4~5月開催予定となっています。

調査・研究委員 事業計画

令和7年度は以下の内容を中心に調査活動等していく予定です。

- 「意思決定支援ガイドライン兵庫県版（仮称）」の普及活動（県社協 助成金活用）
 - ・成功例や失敗例等、数多くの事例を入れ込んだ事業種別毎等の事例集作成をしていきます。
 - ・モデル事業としてご協力いただける事業所を募集させていただき、実際にガイドラインの内容を実践した上でのご意見をいただきたいと思います。
 - ・その他、必要に応じてのアンケート調査を実施します。

令和6年(2024年)度収支決算について

令和6年(2024年)度収支決算(案) について次のとおり承認を求めます。

令和7年5月28日(水)

一般社団法人 兵庫県知的障害者施設協会
会長 松端 信茂

令和6年度 貸借対照表

令和7年3月31日

一般社団法人兵庫県知的障害者施設協会

(単位:円)

借方			貸方		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
流動資産	36,482,205		流動負債	3,788,220	
預貯金	23,581,565		未払金	3,724,658	
1 三井住友普通預金	7,187,970		コピー機カウンター料金	14,755	
2 三井住友普通預金	2,318,810		アスクル	9,273	
3 三井住友普通預金	4,702,550		業務委託費(局長分)		
4 ゆうちょ銀行	5,156,494		(協会負担分/下期分)	1,638,000	
5 但馬銀行	4,215,741		(通勤高速代・駐車場代・他)	198,430	
未収金	12,900,640		受託事業		
受託事業			のじぎくスポーツ大会	8,570	
のじぎくスポーツ大会	2,870,000		強度行動障害sv養成事業	860,875	
キャリアアップ	475,000		その他事業		
強度行動障害sv養成事業	5,940,000		親なき後の受け皿確保事業	346,860	
強度行動障害SV 拠点法人	1,020,640		調査研究事業(県社協)		
その他事業			強度行動障害	18,500	
障害福祉情報公開システム事業	1,995,000		意思決定支援	445,490	
親なき後の受け皿確保事業	600,000		研修会等事業費	112,970	
			研修会等事業費	6,690	
			部会活動事業費	5,230	
			残高証明書 三井住友銀行	440	
			残高証明書 ゆうちょ銀行	1,100	
			残高証明書 但馬銀行	550	
			法定福利費(社会保険料/事業主負担分)	56,925	
			預り金	63,562	
			社会保険料	55,592	
			源泉所得税	370	
			市県民税	7,600	
固定資産	11,939,744		引当金	11,939,744	
その他の固定資産	11,939,744		特定引当金	11,939,744	
			1 災害対策基金	5,239,744	
			2 人件費引当金	6,700,000	
			繰越金/純財産	32,693,985	
			前期繰越金	29,143,224	
			当期収支差額	3,550,761	
			次期繰越金	32,693,985	
合計	48,421,949		合計	48,421,949	

令和6年度 収支決算書(案) (令和6年4月1日～令和7年3月31日)

一般社団法人 兵庫県知的障害者施設協会

令和7年3月31日

(単位:円)

支 出		収 入	
科 目	金 額	科 目	金 額
事業費支出	11,707,682	事業収入	13,227,150
1 研修会等事業費	393,626	1 研修会等事業収入	0
2 社会啓発事業費	317,141	2 社会啓発事業収入	264,000
3 部会活動事業費	619,523	3 部会活動事業収入	50,000
4 受託事業費	7,378,662	4 受託事業収入	9,318,150
5 その他事業費	2,245,490	5 その他事業収入	2,595,000
6 職員啓発事業費	157,120	6 職員啓発事業収入	0
7 調査研究事業費	596,120	7 調査研究事業収入	1,000,000
分担金支出	10,009,800	分担金収入	9,067,800
1 日本福祉協会会費	7,303,800	1 日本福祉協会会費収入	7,303,800
2 県社協会費	1,764,000	2 県社協会費収入	1,764,000
3 近畿地区会費	462,000	3 近畿地区会費	0
4 県社協負担金	480,000	4 県社協負担金	0
事務費支出	11,092,183	事務費収入	13,667,910
1 給与	2,652,300	1 会費収入	13,667,910
2 法定福利費	773,485		
3 福利厚生費	13,564	補助金収入	212,973
4 通勤手当	343,320	1 補助金収入(作文コンクール)	20,000
5 旅費交通費	303,311	2 助成金収入(知福協)	192,973
6 通信費	284,720		
7 会議費	28,600	寄付金収入	80,000
8 水道光熱費	426,272	1 寄付金収入	80,000
9 印刷製本費	149,993	神戸新聞厚生事業団	
10 租税公課	36,207		
11 支払手数料	15,445	引当金戻入	0
12 諸会費	54,120	1 特定引当金戻入(人件費)	0
13 リース料	1,176,321		
14 賃借料	102,156	雑収入	206,523
15 修繕維持費	198,000	1 利息収入	24,929
16 一般物品費	107,734	2 雑収入	181,594
17 業務委託料	4,426,635		
繰入金支出	0	小計	36,462,356
1 特別会計繰入金	0		
雑支出	101,930	当期損失(▲)	
1 特定引当金支出(人件費)	0		
2 助成金支出	0	前期繰越金収入	29,143,224
3 雑支出	101,930		
小計	32,911,595	合計	65,605,580
合計	65,605,580	合計	65,605,580

繰越金

前期繰越金	29,143,224
当期収支差額	3,550,761
次期繰越金	32,693,985

支出		収入	
事業費支出	11,707,682	事業収入	13,227,150
研修会等事業費	393,626	研修会等事業収入	0
新任職員研修会	70,840	新任職員研修会	0
中堅職員研修会	0	中堅職員研修会	0
施設長研修会	13,900	施設長研修	0
その他研修会	308,886		
社会啓発事業費	317,141	社会啓発事業収入	264,000
福祉の集い	257,150	福祉の集い参加費収入	264,000
賀詞交換会	0	賀詞交換会参加費収入	0
県知協ニュース	59,991		
ホームページ	0		
部会活動事業費	619,523	部会活動事業収入	50,000
児童発達支援部会	16,491	児童発達支援部会	0
障害者支援施設部会	35,810	障害者支援施設部会	0
日中活動支援部会	18,300	日中活動支援部会	0
生産活動・就労支援部会	223,255	生産活動・就労支援部会	50,000
地域支援部会	15,090	地域支援部会	0
相談支援部会	16,780	相談支援部会	0
支援スタッフ委員会	99,180	支援スタッフ委員会	0
スポーツ委員会	0	スポーツ委員会	0
権利擁護委員会	131,852	権利擁護委員会	0
広報委員会	19,600	広報委員会	0
人材確保委員会	29,485	人材確保委員会	0
政策委員	0	政策委員	0
調査・研究委員	0	調査・研究委員	0
危機管理委員	0	危機管理委員	0
研修委員	13,680	研修委員	0
受託事業費	7,378,662	受託事業収入	9,318,150
のじぎくスポーツ大会	2,025,464	のじぎくスポーツ大会	2,870,000
全国障害者スポーツ大会選手育成事業	33,150	全国障害者スポーツ大会選手育成事業	33,150
キャリアアップ研修事業補助金	0	キャリアアップ研修事業補助金	475,000
強度行動障害スーパーバイザー養成講座	5,320,048	強度行動障害スーパーバイザー養成講座	5,940,000
その他事業費	2,245,490	その他事業収入	2,595,000
障害福祉サービス情報公開システム登録事業	1,800,000	障害福祉サービス情報公開システム登録事業	1,995,000
親亡き後の受け皿事業	445,490	親亡き後の受け皿事業	600,000
職員啓発事業費	157,120	職員啓発事業収入	0
永年勤続表彰	157,120		
調査研究事業費	596,120	調査研究事業収入	1,000,000
強度行動事業費	249,260	県社協政策	1,000,000
調査研究事業費	346,860		
分担金支出	10,099,800	分担金収入	9,067,800
日本知協協会費	7,303,800	日本知協協会費	7,303,800
兵庫県社協会費	1,764,000	兵庫県社協会費	1,764,000
近畿地区会費	462,000	近畿地区会費	0
兵庫県社協負担金	480,000	兵庫県社協負担金	0
事務費支出	11,092,183	事務費収入	13,667,910
給与手当	2,652,300	会費収入	13,667,910
給与	2,652,300		
法定福利費	773,485		
社会保険料(事業主負担分)	773,485		
福利厚生費	13,564		
健康診断料(供花含む)	13,564		
通勤手当	343,320	補助金収入	212,973
通勤手当	343,320	補助金収入(作文コンクール)	20,000
旅費交通費	303,311	助成金収入(知福協 1次/2次)	192,973
会長副会長会	31,480		
役員会	231,710		
事務局旅費	450		
近畿地区役員会旅費	39,671		
その他	0		
通信費	284,720	寄付金収入	80,000
メール便、郵便代、電話代、振込料等	284,720	寄付金収入(神戸新聞読者助成会(寄付金))	80,000
会議費	28,600	引当金収入	0
会議室使用料、お茶代	28,600	特定引当金収入	0
水道光熱費	426,272		
共益費 電気、ガス、水道	426,272		
印刷製本費	149,993		
冊子印刷・コピー機カウンター料金	149,993		
租税公課	36,207		
法人県民税	36,207		
支払手数料	15,445		
振込手数料	15,445		
諸会費	54,120		
育成会 賛助会員費	54,120		
リース料	1,176,321		
コピー機/電話機等	1,176,321		
賃借料	102,156		
事務所賃賃	102,156		
修繕維持費	198,000		
保守料	198,000		
一般物品費	107,734		
事務用品代等	107,734		
業務委託費	4,426,635		
業務委託費(事務局長委託料・弁護士委託料)	4,426,635		
雑支出	101,930	雑収入	206,523
特定引当金支出(人件費・災害対策)	0	48-01 利息収入	24,979
助成金支出	0	48-02 雑収入	181,544
雑支出(近畿施設長会参加費ほか)	101,930		

監事監査報告書

令和7年(2025年) 5月 24日

一般社団法人兵庫県知的障害者施設協会
代表理事 松端信茂 様

監事 山根 泉 
監事 原 良介 

私たち監事は、令和6年4月1日から令和7年3月31日までの令和6年度の事業報告、計算書類、これらの附属明細書その他理事の職務の執行について監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私たち監事は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事及び職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査し、事業報告を求めました。

以上の方法によって、当該年度に係る事業報告及びその附属明細書を検討いたしました。さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該年度に係る計算書類及びその附属明細書について検討いたしました。

2 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告書は、法令及び定款に従い、当法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

会計帳簿(計算書類及びその附属明細書)は、記載すべき事項を正しく記載し、当法人の財産を適正に表示しているものと認めます。

以上

令和7年(2025年)度収支予算について

令和7年(2025年)度収支予算(案) について次のとおり承認を求めます。

令和7年5月28日(水)

一般社団法人 兵庫県知的障害者施設協会
会長 松端 信茂

令和7年度 収支予算書(案)

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

一般社団法人 兵庫県知的障害者施設協会

(単位:円)

支 出		収 入	
科 目	金 額	科 目	金 額
事業費支出	10,400,000	事業収入	11,615,000
1 研修会等事業費	880,000	1 研修会等事業収入	0
2 社会啓発事業費	520,000	2 社会啓発事業収入	400,000
3 部会活動事業費	700,000	3 部会活動事業収入	160,000
4 受託事業費	5,550,000	4 受託事業収入	6,560,000
5 その他事業費	1,500,000	5 その他事業収入	3,495,000
6 職員啓発事業費	250,000	6 職員啓発事業収入	0
7 調査研究事業費	1,000,000	7 調査研究事業収入	1,000,000
分担金支出	10,120,000	分担金収入	9,170,000
1 日本福祉協会会費	7,350,000	1 日本福祉協会会費収入	7,350,000
2 県社協会費	1,820,000	2 県社協会費収入	1,820,000
3 近畿地区会費	460,000	3 近畿地区会費	0
4 県社協負担金	490,000	4 県社協負担金	0
事務費支出	14,634,000	事務費収入	13,800,000
1 給与	4,700,000	1 会費収入	13,800,000
2 法定福利費	700,000		
3 福利厚生費	24,000		
4 通勤手当	350,000		
5 旅費	500,000	補助金収入	150,000
6 一般物品費	160,000	1 補助金収入	0
7 印刷製本費	200,000	2 助成金収入	150,000
8 会議費	150,000		
9 通信費	400,000	寄付金収入	50,000
10 保守料	280,000	1 寄付金収入	50,000
11 リース料	1,450,000		
12 賃借料	410,000		
13 光熱水費	480,000	引当金戻入	0
14 租税公課	40,000	1 特定引当金戻入(人件費)	0
15 業務委託料	4,790,000		
16 雑費	0		
雑支出	42,000	雑収入	500
1 特定引当金支出(人件費)	0	1 利息収入	500
2 助成金支出		2 雑収入	0
3 雑支出	42,000		
小計	35,196,000	小計	34,785,500
予備費	0	繰越金取崩し	410,500
合計	35,196,000	合計	35,196,000

支出		収入	
事業費支出	10,400,000	事業収入	11,615,000
研修会等事業費	880,000	研修会等事業収入	0
階層別研修 (6回)	520,000		
職種別研修会 (2回)	160,000		
重点研修 (2回)	200,000		
社会啓発事業費	520,000	社会啓発事業収入	400,000
福祉の集い	400,000	福祉の集い参加費収入	400,000
ホームページ			
県知協ニュース	120,000		
部会活動事業費	700,000	部会活動事業収入	160,000
児童発達支援部会	30,000	児童発達支援部会	0
障害者支援施設部会	70,000	障害者支援施設部会	0
日中活動支援部会	30,000	日中活動支援部会	0
生産活動・就労支援部会	100,000	生産活動・就労支援部会	120,000
地域支援部会	50,000	地域支援部会	0
相談支援部会	50,000	相談支援部会	0
支援スタッフ委員会	100,000	支援スタッフ委員会	0
権利擁護委員会	60,000	権利擁護委員会	0
人材確保委員会	100,000	人材確保委員会	40,000
スポーツ委員会	20,000	スポーツ委員会	0
広報委員会	20,000	広報委員会	0
政策委員	20,000	政策委員	0
調査・研究委員	30,000	調査・研究委員	0
危機管理委員	20,000	危機管理委員	0
受託事業費	5,550,000	受託事業収入	6,560,000
のじぎくスポーツ大会	2,370,000	のじぎくスポーツ大会	2,900,000
全国障害者スポーツ大会選手育成事業	80,000	全国障害者スポーツ大会選手育成事業	80,000
キャリアアップ研修事業補助金	0	キャリアアップ研修事業補助金	480,000
福祉・介護事業		福祉・介護事業	
強度行動障害スーパーバイザー養成事業	3,100,000	強度行動障害スーパーバイザー養成事業	3,100,000
その他事業費	1,500,000	その他事業収入	3,495,000
障害者グループホーム支援力強化事業	1,500,000	障害福祉サービス情報公開システム登録事業	1,995,000
職員啓発事業費	250,000	職員啓発事業収入	0
永年勤続表彰	250,000		
調査研究事業費	1,000,000	調査研究事業収入	1,000,000
意思決定支援ガイドライン作成 他	1,000,000	意思決定支援ガイドライン作成 他	1,000,000
分担金支出	10,120,000	分担金収入	9,170,000
日本知福協会費	7,350,000	日本知福協会費	7,350,000
兵庫県社協会費	1,820,000	兵庫県社協会費	1,820,000
近畿地区会費	460,000	近畿地区会費	0
兵庫県社協負担金	490,000	兵庫県社協負担金	0
事務費支出	14,634,000	事務費収入	13,800,000
給与手当	4,700,000	会費収入	13,800,000
給与	4,700,000		
法定福利費	700,000		
社会保険料(事業主負担分)	700,000		
福利厚生費	24,000		
通勤手当	24,000		
通勤手当	350,000	補助金収入	150,000
通勤手当	350,000	補助金収入	0
旅費	500,000	助成金収入(知福協)	150,000
役員会	300,000		
会長副会長会	70,000		
事務局旅費	15,000		
近畿地区役員会旅費	100,000		
その他	15,000		
一般物品費	160,000	寄付金収入	50,000
事務用品代等	160,000	寄付金収入(神戸新聞歳末助け合い配分金)	50,000
印刷製本費	200,000		
冊子印刷・コピー機カウンター料金	200,000		
会議費	150,000		
会議室使用料、お茶代	150,000		
通信費	400,000		
メール便代、郵便代、電話代、振込料等	400,000		
保守料	280,000		
保守料等	280,000		
リース料	1,450,000		
パソコン・電話等	1,450,000		
賃借料	410,000		
事務所・駐車場賃貸等	410,000		
光熱水費	480,000		
共益費 電気、ガス、水道	480,000		
租税公課	40,000		
法人県民税	40,000		
業務委託費	4,790,000		
業務委託費(弁護士委託料・HPリニューアル)等	1,150,000		
業務委託費(事務局長出向料)等	3,640,000		
雑費	0		
	0		
雑支出	42,000	雑収入	500
特定引当金支出(人件費・災害対策)	0	利息収入	500
助成金支出	0	雑収入	0
雑支出	42,000		

兵庫県知的障害者施設協会役員変更の承認について

兵庫県知的障害者施設協会役員について次のとおり承認を求めます。

令和7年5月28日(水)

一般社団法人 兵庫県知的障害者施設協会
会長 松端 信茂

協会役員名簿

役職	地区・部会・委員会	氏名	備考
会長	神戸(神)	神戸 松端 信茂	陽気会
副会長	神戸代行・連絡調整	神戸 丸山 博徳	おかばホーム
	阪丹但(阪)	阪丹但 森 康祐	塚口福成園
	播淡(播)	播淡 中川 裕美子	愛心福祉会
	部会	阪丹但 高野 康彦	三田谷治療教育院
部会長・副部会長・部会員	児童発達支援	長 阪丹但 高野 康彦	三田谷治療教育院
		副 神戸 小山 翔平	児童発達支援センター おかば学園
		副 播淡 奥山 仁美	赤穂精華園児童寮
	障害者支援施設	長 阪丹但 丸山 和幸	芦屋翠ホーム
		副 神戸 住谷 裕弘	ライフセンター神戸
		副 播淡 三枝 知子	五色精光園
	日中活動支援	長 播淡 宮崎 泰生	木の根学園ひまわり工房
		副 阪丹但 秋山 健一	武庫川すずかけ作業所
		副 神戸 山本 隆志	神戸明生園
	生産活動・就労支援	長 播淡 長谷川 博信	ワークホーム高砂
		副 播淡 西村 学	赤穂精華園やまびこ寮
		副 阪丹但 小林 良輔	ワークメイト西宮
	地域支援	長 阪丹但 岡本 征	東山荘
		副 神戸 大西 博之	ひだまり園
		副 阪丹但 芦田 愛	東山荘
	相談支援	長 播淡 大黒 之弘	希望の郷
	副 播淡 鰻目 とし子	三木精愛園	
委員会	支援スタッフ	長 神戸 白坏 良太	ライフセンター神戸
		神戸 森田 淳矢	上野丘更生寮
		神戸 藤原 啓輔	こんにちは友が丘
		阪丹但 久保 直輝	ドリーム甲子園
		阪丹但 井本 翔太	ふれあいセンター
		阪丹但 柴崎 涼子	三田こぶしの園
		播淡 濱田 淳士	姫路暁乃里
		播淡 山中 圭佑	加古川はぐるまの家
		播淡 岩本 典士	希望の郷
	スポーツ	長 阪丹但 柴崎 博彦	沢谷荘
		神戸 澤村 友也	陽気会
		播淡 三木 寛司	若狭野荘
	権利擁護	長 阪丹但 西條 篤人	協同の苑さつき
		神戸 梅林 由紀	もとやま園
		播淡 天野 一雄	真砂園
	広報	長 神戸 澤村 友也	陽気会
		阪丹但 笠継 圭志	第一松の園
		播淡 村上 弘晃	オリオン
	人材確保	長 阪丹但 辻井 善弘	宝塚さざんか福祉会
		阪丹但 島 祐貴	福成会
	播淡 宮崎 泰生	木の根学園ひまわり工房	
研修	阪丹但 森 康祐	塚口福成園	
		正・副会長会	
強度行動障害支援	長 播淡 灘 一善	姫路暁乃里	
	副 阪丹但 笠井 喜世志	杭瀬福成園	
	副 神戸 遠山 伸一	みのたに園	
	副 播淡 森本 隆義	姫路暁乃里	
委員	政策	播淡 嵯峨山 悠	若葉福祉作業所
	調査・研究	播淡 村上 弘晃	オリオン
	危機管理		協会事務局
監事	施設・事業所代表	神戸 山根 泉	清心ホーム
	職員代表	阪丹但 原 良介	ドリーム甲子園
事務局	事務局長		福西 堅固
	顧問		堺 孰 蓬菜 和裕

出席者名簿

(令和7年5月26日現在)

神戸 地区

no.	施設名	出席者	委任状
		施設長・管理者・事業所長	施設長・管理者・事業所長
1	あさぎりの里		前原 正輝
2	アリス・エリザベス・ホーム		
3	上野丘学園		
4	上野丘更生寮		
5	上野丘さつき会 共同生活援助事業所		
6	おかば学園		
7	おかばホーム	丸山 博徳	
8	グリーンホーム平成	小橋 一広	
9	神戸光生園	木南 仁	
10	神戸市立あけぼの学園		
11	神戸市立自立センターあづま	大杉 健太	
12	神戸市立自立センターたるみ	北谷 晋也	
13	神戸市立自立センターひょうご	三木 卓也	
14	神戸市立ワークセンターいわや		中野 靖
15	神戸市立ワークセンターひょうご		高見 俊雄
16	神戸聖生園	加藤 成久	
17	神戸光の村授産学園		
18	神戸明生園		山本 隆志
19	光耀会クラブ		
20	こんにちは友が丘	廣島 雅之	
21	こんにちは友が丘 きたすま分場		
22	サニーサイド神戸	池田 哲史	
23	さわらび学園		
24	児童発達支援センター おかば学園	小山 翔平	
25	障害者支援施設 あゆみの里	田中 美佐紀	
26	障害者支援施設 ヨゼフ寮		松岡 利明
27	白川台ホーム		

no.	施設名	出席者	委任状
		施設長・管理者・事業所長	施設長・管理者・事業所長
28	しらゆりフレンドリークラブ		井上 琢也
29	しらゆりフレンドリークラブ ひがしなだ		
30	新緑の家		堀江 善也
31	清心ホーム	山根 泉	
32	せいいいやさかだい	岩井 誠一	
33	ゼノの村		柏木 文美代
34	滝谷ホーム		
35	多機能型障がい者デイセンターひょうご		大嶋 信幸
36	玉津むつみの家		佃 則子
37	たまも園		田路 盛章
38	ここはの家		
39	なごみの里	黒井 篤志	
40	Natural Antique Labo Tamunomori		小松 優作
41	西大池ホーム	丸山 博徳	
42	ひだまり園	大西 博之	
43	ひふみ園		
44	みのたに園	遠山 伸一	
45	みらいおもいけ園		後藤 加奈子
46	もとやま園		梅林 由紀
47	ようき寮	山口 貴大	
48	よろこび荘	大谷 健太	
49	ライフセンター神戸	住谷 裕弘	
50	ワークステーションフレニード		
51	ワークステーション細田	師玉 幸彦	
52	ワークスペースきゃんばす		
53	ワークセンターわかまつ		岩本 康則
54	ワークホーム緑友		木村 誠
55	ワークみくら	高畑 潤	
神戸地区計		22	16

阪丹但地区

no.	施設名	出席者	委任状
		施設長・管理者・事業所長	施設長・管理者・事業所長
1	あいあい	加藤 泰子	
2	芦屋翠ホーム	丸山 和幸	
3	尼崎あぜくら作業所		
4	尼崎市立あこや学園		高橋 真奈美
5	いきいき宝夢	溝田 康英	
6	出石精和園 共同生活援助事業所		真田 一如
7	出石精和園 成人寮		真田 一如
8	出石精和園 相談支援事業所		真田 一如
9	出石精和園 第2成人寮		真田 一如
10	出石精和園 第3成人寮		真田 一如
11	いずみ園		永野 一夫
12	伊丹市立こども発達支援センター	江口 昌孝	
13	一羊園	山岡 賢治	
14	猪名川園		
15	おおや作業所		
16	かしの木工房 こはま		
17	春日育成苑		岡本 健
18	春日学園		田野 基宏
19	北山学園	田中 隆雄	
20	杭瀬福成園	笠井 喜世志	
21	くすのき	立野 普巳子	
22	グループホーム 燈		斉木 美香
23	グループホーム 元気	足立 一志	
24	グループホーム みつみ		中川 優一
25	琴弾の丘		
26	こんばす		中村 喜弘
27	ささやま通園センター		押田 正克

no.	施設名	出席者	委任状
		施設長・管理者・事業所長	施設長・管理者・事業所長
28	さざんかグループホーム	脇田 幸治	
29	さつき	西條 篤人	
30	サポートセンターまつば	山元 拓馬	
31	三田こぶしの園		前中 洋
32	三田谷学園		椛澤 正明
33	三田わくわく村		
34	指定障害者支援施設 ポプラの家		石塚 寛
35	就労継続支援B型事業所 スクラム		宮下 浩治
36	障害者支援施設 沢谷荘		小林 譲次
37	障害者通所施設 たんば園	足立 一志	
38	しんわ尼崎作業所		栃尾 惣一
39	生活介護事業所あおぞら		中川 優一
40	清流園	福満 久晃	
41	相談支援センター だんぼ		豊川 美奈子
42	第1松の園	笠継 圭志	
43	第2松の園	笠継 圭志	
44	宝塚あしたば園		野口 能史
45	宝塚育成事業所		
46	宝塚くるみの里	谷口 篤	
47	宝塚けやきの里	廣田 徹	
48	宝塚さざんかの家	松永 仁美	
49	宝塚市立子ども発達支援センター		塩見 淳
50	丹南精明園	中瀬 一郎	
51	丹南精明園 共同生活援助事業所	中瀬 一郎	
52	丹南精明園 相談支援事業所	中瀬 一郎	
53	たんぼぼワーク		小林 豊
54	地域活動支援センター わかば		大友 昭五
55	塚口福成園	森 康祐	

no.	施設名	出席者	委任状
		施設長・管理者・事業所長	施設長・管理者・事業所長
56	とよおか作業所 愛・とーぷ		橋本 優磨
57	とよおか作業所 郷・とーぷ		小林 弘典
58	ドリーム甲子園	大田 広孝	
59	なかよし園		
60	和・とーぷ		小林 弘典
61	ななくさ育成園		
62	ななくさ学園		伊藤 正裕
63	ななくさ新生園	北田 慎一	
64	ななくさ清光園	船越 信利	
65	西宮すなご医療福祉センター		蘆野二郎
66	ねくすと（居宅介護事業）		宮下 浩治
67	ねくすと（相談支援支援事業）		林 温子
68	東山荘		
69	フラーフ		藤田 淳子
70	ふれあいセンター		原田 早苗
71	松の園		葛西 裕子
72	みつみ学苑		関 真博
73	武庫川すすかけ作業所	秋山 健一	
74	名神あけぼの園		宇川 英吾
75	明倫の郷		山崎 俊輔
76	ゆうゆう		芝 昭宏
77	ライフゆう	小山 達也(理事長)	
78	リーブ・フルーリー	西村 智博	
79	六甲園		野村 元英
80	ワークショップふえにつくす		
81	ワークプラザ宝塚	阪口 麻紀	
82	ワークホームつつじ	仁頃 哲太郎	
83	ワークメイト西宮聖徳園	小林 良輔	
84	和生園		山根 由夫
阪丹但地区計		32	41

播淡地区

no.	施設名	出席者	委任状
		施設長・管理者・事業所長	施設長・管理者・事業所長
1	相生市立障害者支援施設 野の草園		宮崎 直樹
2	愛心園	中川 義之	
3	明石市立あおぞら園・きらきら		
4	明石市立木の根学園 たんぼぼ工房	伊丹 修	
5	明石市立木の根学園 ひまわり工房	宮崎 泰生	
6	あかりの家	坊垣 勝彦	
7	赤穂市立さくら園		上荷 昌保
8	赤穂精華園 共同生活援助事業所		横山 智也
9	赤穂精華園 児童寮		横山 智也
10	赤穂精華園 成人寮		横山 智也
11	赤穂精華園 相談支援事業所		横山 智也
12	赤穂精華園 やまびこ寮		横山 智也
13	あすなろ学園		
14	アルーラ		西村 純子
15	あわじ障害者地域活動支援センターきらら	藪脇 久臣	
16	いちかわ園		
17	いちかわ園 ゆめさき分園		
18	いちょう園	茅原 一仁	
19	いちれつ学園		
20	医療福祉センター のぎく		
21	小野市立ひまわり園		東後 克則
22	オリオン	村上 弘晃	
23	かえでホーム		泰 隆文
24	加古川市立つつじ園	橋本 剛志	
25	加古川はぐるまの家		
26	加西市立善防園		岩見 信吾
27	希望山荘日笠		亀山 隆幸

no.	施設名	出席者	委任状
		施設長・管理者・事業所長	施設長・管理者・事業所長
28	希望の郷	大黒 之弘	
29	共同生活援助 うさぎとかめ	中川 義之	
30	協和学園		新井 聖子
31	栗の木荘		坂口 雅哉
32	グループホーム コスモス		
33	グループホーム とも		尾田 弘之
34	グループホーム めばえ		
35	香翠寮		内井 一也
36	五色精光園 共同生活援助事業所	三枝 知子	
37	五色精光園 成人寮	三枝 知子	
38	五色精光園 相談支援事業所	三枝 知子	
39	五色精光園 第2成人寮	三枝 知子	
40	五色精光園 日中サービス支援型共同生活援助事業所	三枝 知子	
41	さつき園		春名 章宏
42	サルビア園		高瀬 勝伸
43	サルビアの家		寺田 順一
44	三恵園		木下 裕之
45	三光園		古庄 慎也
46	しそう自立の家		
47	指定障がい者支援施設 ひのもと青年寮		
48	指定障がい者支援施設 ふるさと寮		村上 貴史
49	障害者支援施設 あすかの家		岡本 功
50	障がい者生活援助センター ようぼく		村上 貴史
51	障害福祉サービス事業所 きらら		藤本 豊久
52	書写ひまわりホーム	田摩 正三郎	
53	生活支援センター		森田 周作
54	相談支援事業所 こんばす		
55	相談支援事業所 はんど		
56	大地の家		三村 寛裕

no.	施設名	出席者	委任状
		施設長・管理者・事業所長	施設長・管理者・事業所長
57	太陽の郷	白井 俊広	
58	高砂市立高砂児童学園		安永 綾
59	たかはしサポートセンター		尾田 弘之
60	多機能型事業所 あゆみの部屋	三枝 知子	
61	多機能型事業所 こばと園		岡本 晃幸
62	龍野つくし園		
63	納豆工房なっとこちゃん	長谷川 博信	
64	虹		柳生 和子
65	はなさきむら作業所		新庄 さゆり
66	ハピネスさつま		山本 浩文
67	ハピネスさつま 相談支援事業所		山本 浩文
68	播磨園	原田 浩幸	
69	パレットたつの		理事長 藤田 和隆
70	姫路暁乃里	灘 一善	
71	姫路学園		三木 伸一
72	姫路市立かしのきの里		堀内 泰介
73	姫路市立障害者支援センター	竹田 公子	
74	姫路市立こども発達支援センター		福島 優子
75	ふらっと		
76	真砂園	天野 一雄	
77	三木光司園		門口 淳一
78	三木精愛園	緩目 とし子	
79	三木精愛園 共同生活援助事業所	緩目 とし子	
80	三木精愛園 相談支援事業所	緩目 とし子	
81	三原ホーム		大山 直克
82	メイプル		山根 昌之
83	もちの木園		尾田 弘之
84	もみじホーム		山根 昌之
85	ゆめさきの家		石野 信幸
86	陽光園		菅谷 典彦

no.	施設名	出席者	委任状
		施設長・管理者・事業所長	施設長・管理者・事業所長
87	ライフガーデン加古川		
88	ろはうす		
89	ワークホーム高砂	長谷川 博信	
90	若狭野荘		福田 直真
91	わかば園		仲 千恵子
92	若葉福祉作業所	嵯峨山 悠	
播淡地区計		28	47
総計		82	104

その他の出席者

1	陽気会	澤村 友也
2	県知協 事務局長	福西 堅固
3	県知協 事務局員	美船 玲子
4	県知協 事務局員	鮫島 恵美子
5		
6		
合計		4

